

令和元年度

教育委員会自己点検・評価
報告書

塩尻市教育委員会

目 次

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要	1
事業部ミッション	5
こども教育部	5
市民交流センター・生涯学習部	12
事務事業評価シート	20
こども教育部	20
市民交流センター・生涯学習部	31
教育委員会個別計画成果指標等	40
塩尻市教育振興基本計画	40
元気っ子育成支援プランⅡ	42
塩尻市生涯学習推進プランⅢ	44
塩尻市スポーツ推進計画	45
図書館サービス計画	47
子ども読書活動推進計画	48
平成29年度 塩尻市教育委員会会議等記録	49

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

(1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

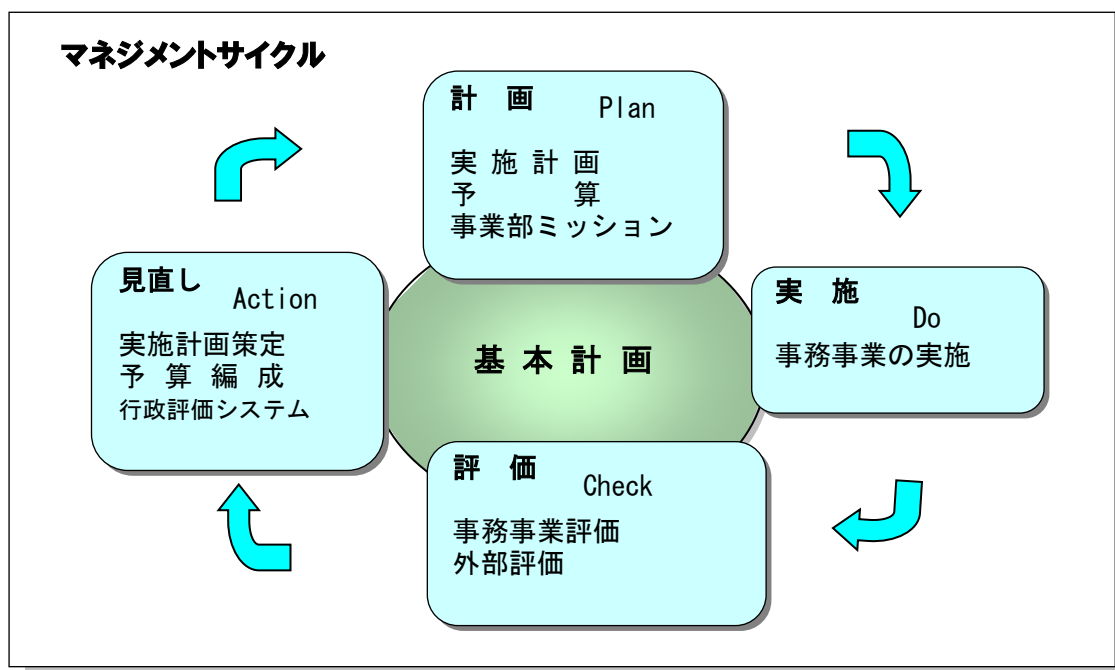
(2) 制度導入の目的

ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部ミッションに基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントサイクル **Plan : 計画** → **Do : 実施** → **Check : 評価** → **Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



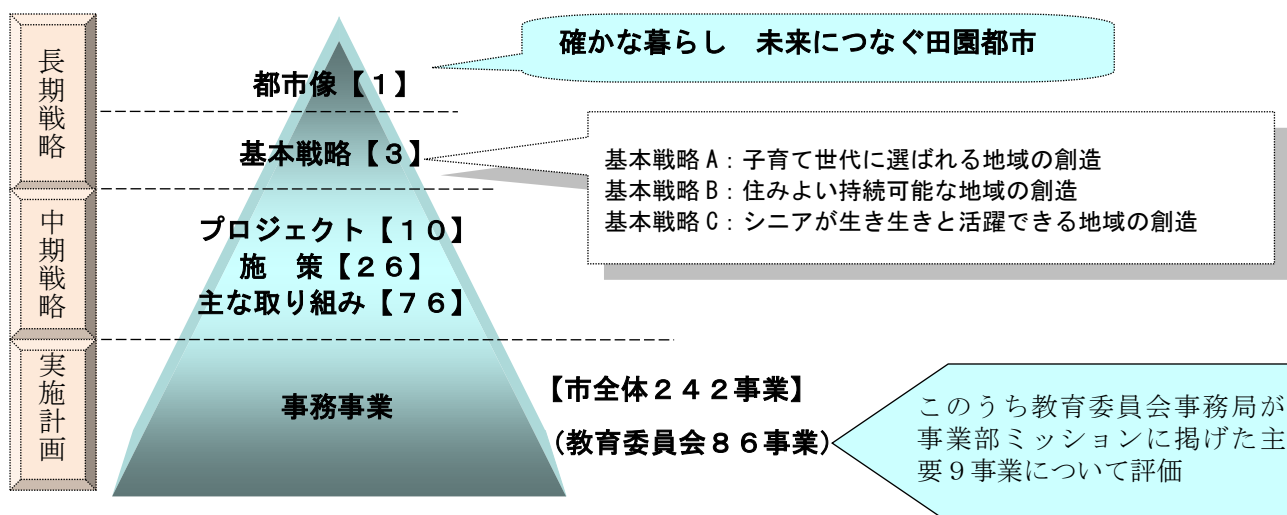
ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

(3) 評価対象事業

教育委員会事務局（こども教育部、市民交流センター・生涯学習部）が実施した事業の中で、各部が事業部ミッションとして掲げた事業のうちの9事業について自己点検評価を行います。

【第5次塩尻市総合計画の施策体系】



○教委委員会関係事業等の内訳

	行政評価システム (市企画課)	教育委員会	
	事務事業数	事業部ミッション (年度当初に作成)	自己点検・評価 対象事業
こども教育部	46	2	5
市民交流センター・生涯学習部	40	5	4
合計	86	7	9

(4) 評価のプロセス

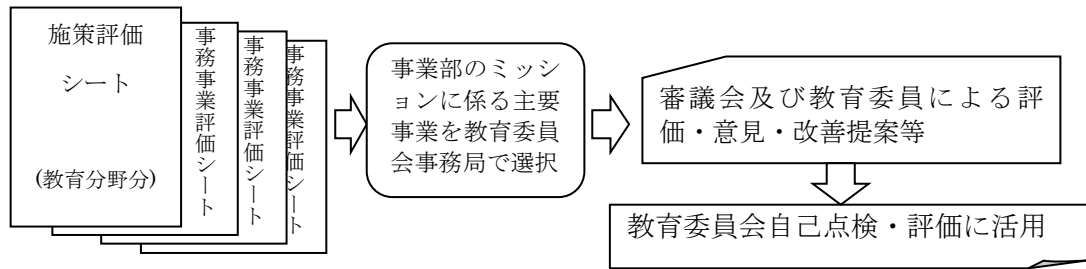
市で実施している行政評価システムにおいて作成した事務事業評価シートを活用し、教育委員会（教育長・教育委員）による評価と塩尻市教育振興審議会による外部評価を行っております。評価に対して担当課により改善内容を策定しております。

■第5次塩尻市総合計画の行政評価システム（市企画課実施）の活用

（行政評価システムでは、担当課にて自己点検・評価を実施しております。）

実施時期	R 元年 6月～7月	R 元年 9月～11月
評価名	H30 事後評価	R 元事 中評価
目的・活用	<ul style="list-style-type: none"> 評価指標の分析 決算説明資料への活用 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の課題抽出 改革、改善案の提案 次年度の予算編成に活用（予算との連動）

イメージ図



(5) 塩尻市教育振興審議会について

教育委員会では、自己点検・評価の客観性を確保し、自己点検・評価活動の質的向上を図るため、平成30年10月16日に塩尻市教育振興審議会へ塩尻市教育委員会の自己点検評価について諮問しております。

塩尻市教育振興審議会は、教育に関し学識を有する者で構成されており、自己点検・評価等に関する審議をお願いしております。

塩尻市教育振興審議会

1 審議会の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の施策及び事務事業に関する管理及び執行の状況の点検及び評価について審議を行う。

2 審議会委員について

(1) 委嘱期間 令和2年2月から2年間

(2) 審議会委員 3人

- ・有路 憲一 氏 信州大学全学教育機構 准教授
- ・今村 篤史 氏 松本大学総合経営学部 専任講師
- ・中野 達郎 氏 行政経験者

(3) 審議日程

令和2年2月4日

【参考 関係例規】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○塩尻市教育振興審議会条例

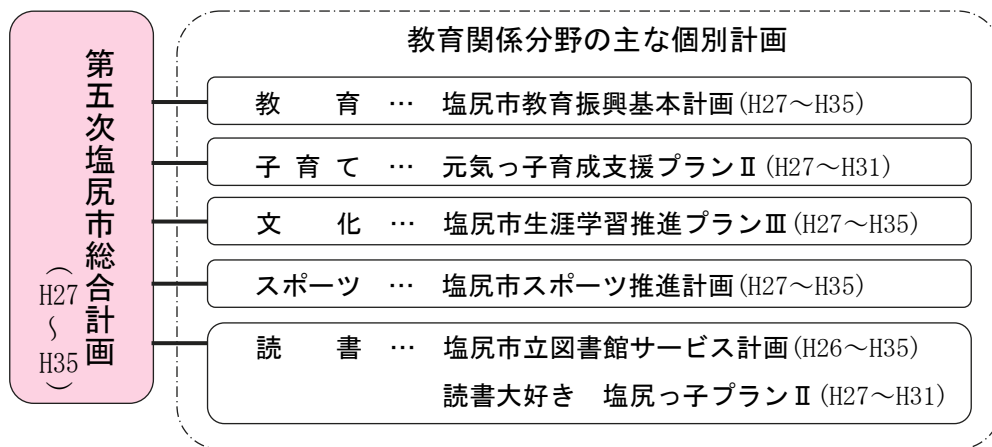
(任務)

第2条 審議会は、塩尻市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次の事項について調査審議する。

- (1) 教育基本法(平成18年法律第120号)第17条第2項の規定による教育振興基本計画の策定等に関する事項
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定による教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事項
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(6) 教育委員会関係個別計画の進捗状況について

教育委員会では、主要な個別計画を第5次塩尻市総合計画と整合を図りながら策定し、事業を実施しております。個別計画についても計画の実施状況を確認し、事業の見直し等を図るため、成果指標等により進捗状況を検証しております。



()内は計画期間

こども教育部

事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	1-1-2 地域の子育て環境の充実	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる女性の割合	9.6%	2017			減少
		子育て支援センタープレイルーム利用者数	30,172人	2016			31,000人
	全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備	1-1 出産・子育てサポート体制の充実			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化の進展、母親の就労が増加する中で、3歳未満児の保育園入園のニーズが増加傾向で推移している。そのため、家庭内での愛着の形成を図りつつ、親子で過ごす時間を拡げ、安心して子どもを育てることができる環境を充実させる必要がある。 ・安心して子育てができる環境を整備するために、子育て世帯へ、遊びや交流の場所の提供、子育てに関する情報発信をするなど、地域で子育てを応援していく必要がある。 ・北部拠点の建設に伴い、北部子育て支援センターが移転するため、移転の準備や市民への周知が必要となる。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○3歳未満児を家庭で育児している保護者と子どもを対象とした「親子でイクジー・えんぱー保育園」の開催 ○家庭や地域に向けた子育て情報の提供、保育講演会の開催、地域及び関係機関との連携 ○元気っ子育て支援プランⅢ策定に向けたニーズ調査の実施及び元気っ子育て支援プランⅢの策定 ○子育て支援センターの利用促進と、北部子育て支援センター移転に伴う、北部地域住民へのPRと利用促進 ○ファミリーサポート制度の周知を図り、利用促進につながる有効な手段を検討 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	にぎやか家庭応援事業(子育て支援分)	こども課	・幼少期における家庭での育児の大切さについて啓発するため、未就園児を抱える保護者をターゲットに、保育講演会やえんぱー保育園を開催するとともに、子育て支援に関して積極的な情報を発信する。				
	子ども・子育て会議運営事業	こども課	・子育て世代を対象に実施した「子ども・子育てアンケート」の分析を進め、子育てに関する課題やニーズを把握しつつ、元気っ子育て支援プランⅢを策定する。				
	子育て支援センター事業	子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけ支援センターの実施や各種講座の開催により、利用者の増加を目指すとともに、北部子育て支援センターのお別れ会及びオープニング記念のイベント等の開催により、北部地域の利用者拡大を図る。 ・旧北部子育て支援センターについては、施設を解体し土地は吉田区へ返還する。 				
	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援センター	・地区ごとの会員交流会を開催し、登録したが未利用の者への利用促進を図るとともに、地域へ出向いての出張登録会を開催し、新規利用者の拡大を図る。				
こども広場事業	子育て支援センター	・子育てに関する講座等の開催、木育フェスティバルへ参加する中で、利用者の増加と遊び環境の充実及び木育の推進を図る。					
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
2	1-1-3 子育て世帯への経済的支援	子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる女性の割合	9.6%	2017			減少
	全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備	1-1 出産・子育てサポート体制の充実			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯等への保育料の減免について、国の幼児教育の段階的無償化に係る制度改正の動向にも注視をしつつ、状況を見極めながら対応をしていく必要がある。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○保育園及び認定こども園に入園している多子世帯への保育料減免(3歳以上児で第2子半額、第3子以降全額減免)の実施と国の幼児教育無償化に向けた対応 ○私立幼稚園及び認可外保育施設に入園している多子世帯への保育料減免(3歳以上児で第2子半額、第3子以降全額減免)のためのにぎやか家庭保育料等補助金の交付 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)	こども課	・子育て家庭の経済的負担を軽減するため、10月から始まる国の幼児教育無償化にも対応しつつ、多子世帯等への保育料及び給食費等を減免する。				

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値	
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]	
3	1-2-1 家庭支援の充実	児童千人当たりの児童虐待相談件数	6.8	2016			県平均より低	
	全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備		1-2 子どもの育ちや環境に応じた支援			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待相談件数が増加しており、児童千人当たりの相談件数が、県平均(5.9件)を上回っている。 元気っ子応援事業を含め、困った時に相談できる窓口の認知度が低い。 地域での学習支援など、子どもの居場所が求められている。 地域に中高校生の居場所や相談できる場が少ない。 						
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> 元気っ子応援事業の推進、18歳以降の若者サポート事業への繋ぎ 子育て支援連絡会、アセスメント会議を充実させ、妊娠、出産から子育てへ切れ目のない支援の充実 子ども家庭総合支援拠点の運営と、子育て世代包括支援センターとの連携の強化 子どもの未来応援協議会を設置し、子どもを核としたネットワークの構築と、地域での学習支援など子どもの居場所づくりの促進 例えば一くや北部拠点を活用した中高校生の居場所(学習機能、相談機能)の検討 						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	元気っ子応援事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校へのフォローアップ、子育て応援教室、医療相談、ことばの相談などを実施する。 元気っ子応援事業の情報(不登校、ひきこもり等)を18歳以降も共有し、関係者が連携して支援できる仕組みを進める。 元気っ子応援事業を含め、育児不安への支援・子どもに関する相談機関の周知パンフレットを作成する。 					
	家庭支援推進事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭が抱える様々な課題を解決するため、子育て世代包括支援センターと連携を図り、養育支援訪問事業や子育て支援ショートステイ事業を行うなど、関係機関と連携した相談支援により虐待等の予防を図る。 子ども家庭総合支援拠点を核に、要保護児童対策地域協議会のネットワークを活かし、要保護児童等の支援を適切に対応するとともに、重大化を未然に防ぐ。 					
	こどもの未来応援事業	家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの貧困対策について、こどもの未来応援協議会のネットワークを活用し、情報の共有及び啓発を図る。また、地域で子どもを見守り育てるといった意識の醸成を図り、地域での子どもの居場所づくりを促進する。 					
	当年度事務事業		主管課	当年度事業内容				
	保育環境の充実		デイ保育室のエアコン設置室数 希望の保育園に就園している園児の割合 給食調理業務評価結果	1	2017			3
全市戦略における位置付け		1 子どもを産み育てる環境の整備		1-3 働く世帯のための子育て支援				
目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進む保育園施設の計画的な修繕、整備を行い、快適な保育環境の提供と建物の延命を図る必要がある。 塩尻駅北土地区画整理事業に伴い、入園児童数が増加することが見込まれることから、施設整備について検討する必要がある。 3歳未満児の保育園入園希望が増加傾向にあり、保育施設のハード面の整備と保育士の安定的な確保に向けた対策が喫緊の課題である。 給食備品の老朽化により、不測の故障による安定的な給食提供への影響が懸念される。 2018年夏の猛暑を受け、体温の調節機能が未発達な乳幼児の安全な保育園生活を確保する必要がある。 							
3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園15園の運営 老朽化した保育園施設の改修、維持管理による施設の延命と、安心安全で快適な保育環境の確保 保育園の給食調理業務のプロポーザル方式による外部委託と給食備品の計画的な更新による安全安心な給食の提供 保育補助員の公立保育園全園配置による高齢者と園児とのふれあいを通じた情緒発達等への支援 未就園児と保護者を対象にしたあそびの広場を実施し、多様な育児環境(世代間交流、郷土文化伝承)の提供 市内の民間保育所に対する補助金の交付 保育園へエアコンの導入 待機児童解消に向けた対策と子育て支援の充実に対する更なる取組 							
当年度事務事業	主管課	当年度事業内容						
保育所施設改善事業	教育総務課	保育園施設の営繕修繕及び遊具の改善工事等を行う。						
保育所施設空調設備整備事業	教育総務課	2019年7月からの使用開始に向けて、保育園へエアコンを設置する。						
保育所運営費	こども課	公立保育園15園の運営を行い、保育を必要とする家庭から児童を受け入れ、健やかな成長を促すとともに、保護者の育児と就労の両立を支援するため、一時保育等の特別保育を実施するなど、ニーズに沿った保育所運営を推進する。						
給食運営費	こども課	良質で安心安全な給食の提供及び食育推進を目的とした調理業務委託を継続し、園児の心身の健全な成長発達を促すとともに、望ましい食習慣の定着を促進する。						
育児支援推進事業	こども課	あそびの広場事業などの実施により、世代間交流事業や郷土文化伝承事業などの実施により、多様な育児環境の提供や、子育て相談を行う。						
民間保育所支援事業	こども課	市内で民間が運営する保育園、認定こども園、認可外保育施設の安定的な運営を図るため、運営費、延長保育等に対する補助金を交付する。また、待機児童対策として、小規模保育事業に対する施設整備補助等を行う。						
保育補助員設置事業	こども課	核家族化が進行する中で、各園1名ずつの保育補助員設置により高齢者の優しさや温かさに触れることで、安心感を与えると同時に思いやりの心を育む。						

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
5	1-3-2 放課後児童の居場所確保	放課後児童クラブ等の申込みに対する充足率	100%	2017			100%
	全市戦略における位置付け	1 子どもを産み育てる環境の整備	1-3 働く世帯のための子育て支援				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の利用者数の増加に対応するため、施設整備について検討する必要がある。 ・放課後児童クラブ等の有償化を検証する。また、母親の就労状況が増加する中で、放課後児童クラブ等の利用が増加傾向であることから、運営方法等について見直しを検討する必要がある。 ・2018年夏の猛暑を受け、夏休み期間中の児童の安全な児童館生活を確保する必要がある。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○広丘児童館の建設 ○旧勤労青少年ホームの解体 ○広丘西保育園の改修 ○児童館、児童クラブ、放課後キッズクラブの運営に係る検証と充実(利用時間の細分化、料金設定など制度を見直して運営) ○児童クラブ等による子どもの居場所の提供と、学校教職員経験者の館長登用による小学校との連携及び学習支援の強化 ○児童館へエアコンの導入 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
広丘児童館建設事業	教育総務課	・2020年4月の開館に向けて、旧勤労青少年ホーム解体及び広丘児童館建設を行う。					
児童館・児童クラブ運営費	こども課	・就労等により保護者が昼間家庭にいない児童に対して、夏休みなどの学校休業日に遊びや生活の場を提供し、集団生活を通して、児童の健全育成を図るため、児童クラブを運営する。					
放課後キッズクラブ運営費	こども課	・保護者が昼間家庭にいる児童に対しても、児童クラブ同様に、遊びや生活の場を提供し、集団生活を通して、児童の健全育成を図るため、放課後キッズクラブを運営する。					
児童館・児童クラブ施設空調設備整備事業	教育総務課	・2019年7月からの使用開始に向けて、児童館へエアコンを設置する。					

こども教育部

事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
1	2-1-1 時代の変化に対応した学力の向上	外国の人と友だちになったり、外国のことについて、もっと知りたいと思う小学生の割合(小6)	71.0%	2017			増加
		ICT活用研修の開催数	50回	2017			50回
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・小学校英語教育の早期化・教科化へ向けて教職員の資質向上や、ICT活用教育推進のための教職員の指導力向上、児童生徒に対する情報モラル教育等が課題である。					
	3年間の概要	○児童の英語力向上ため、英語教育担当指導主事を中心とし教職員の英語力の向上及び指導力の強化 ○児童生徒の情報モラル教育等を推進するため、情報教育担当指導主事を中心とした研修等による教職員のICT活用力の向上 ○学習指導要領や教科書改訂に伴う指導書等の教材の購入					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	小学校英語活動サポート事業	教育総務課	・次期学習指導要領の全面実施に向けて、英語教育担当指導主事を中心に、小学校の教職員の英語力の向上や指導力の強化を図る。				
	教育センター情報教育推進費	教育総務課	・教職員に対するICT活用研修、授業支援、児童生徒や保護者に対する情報モラル研修の開催、プログラミング教育に関する研究等に取り組む。				
	小中学校情報教育推進費	教育総務課	・パソコン等の情報機器の管理運営や、それを活用した学習活動の推進を図る。				
	小中学校新学習指導要領対応事業	教育総務課	・「道徳」の教科化に対応する教材等の購入や、教科書改訂に関する事務を行う。				
2	2-1-2 健やかな成長の支援	学校給食レストランの開催数	75回	2017			75回
		毎日朝食を食べる中学生の割合(中3)	96.0%	2017			96.5%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・給食のアレルギー対応が必要な児童生徒の増加、給食費の未納解消への対応が必要となっている。 ・自校給食を堅持するため、安定した給食提供体制を確保する必要がある。 ・スマートフォン等の所持の低年齢化、所持率の上昇もあり、子どもの成長発達への影響が懸念される。					
	3年間の概要	○自校給食を堅持し、安全安心でおいしい給食の提供による児童生徒の心身の成長を支援 ○アレルギー完全除去対応の継続 ○給食食材の地産地消、食育に関する企画等の推進 ○給食費の児童手当からの徴収の拡大 ○給食調理員(正規職員)の体制整備 ○「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動を行政、関係団体等が協働して推進 ○スマートフォン等のメディアの使用が、子どもの成長に及ぼす影響等の啓発					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	給食運営事業事務諸経費	教育総務課	・地産地消コーディネーターと連携した食材の地産地消の推進、給食レストラン開催による食育活動の推進、給食費の児童手当徴収の拡大に取り組む。また、給食調理員(正規職員)の採用試験を実施する。				
	こどもの未来応援事業	家庭支援課	・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動を行政、関係団体等が協働して推進する。 ・スマートフォン等のメディアの使用が、子どもの成長に与えるリスク等について啓発する。				

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値	
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]	
3	2-1-3 体験型学習の推進	体験学習フェスティバルの開催	1回	2017			1回	
		「総合的な学習の時間」に自ら課題を立てて学習に取り組む小学生の割合(小6)	71.7%	2017			72.0%	
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上				
	目標とのギャップ・課題	・外で遊ぶ子どもが減少し、子どもたちが自ら考えて行動する機会が減っている状況にある。体験学習プログラム等を通して、子どもたちの生きる力を育み、社会を生き抜く力を身につけることが重要となる。						
	3年間の概要	○体験学習フェスティバルの開催による親子のふれあう場の機会創出 ○塩嶺体験学習の家の周知 ○学校活動における、リーダー的な存在となる児童生徒の育成						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
こども未来塾等運営事業	教育総務課	・こども未来塾等の活動を通して、児童生徒の生きる力を育むとともに、塩嶺体験学習の家の周知を図る。						
4	2-1-4 地域と連携した教育体制の充実	学校と地域が連携して実施した事業の実施数	120件	2016			135件	
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上				
	目標とのギャップ・課題	・市内全小中学校に導入したコミュニティ・スクールの今後の継続性が重要となる。 ・支えとなる学校支援ボランティアの拡充に向けて、コミュニティ・スクールの周知が重要となる。 ・小規模化が進む小中学校の運営等について検討する必要がある。						
	3年間の概要	○学校が創意工夫して実施する特色ある教育活動に対する交付金の交付 ○学校支援ボランティアなどの関係者や市民に対する研修や周知等によるコミュニティ・スクールの充実 ○地域と連携した体験型学習等の推進 ○檜川地区の小中学校のあり方について検討						
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容					
	小中学校特色ある教育活動事業	教育総務課	・「生きる力を育む交付金」を小中学校に交付し、特色ある教育活動を推進する。					
地域連携教育推進事業	教育総務課	・学校支援コーディネーターを配置し、コミュニティ・スクールによる、地域に開かれた学校運営を推進する。 ・キャリアパスポートを全小中学校に導入し、キャリア教育の充実を図る。 ・木曾檜川小学校及び檜川中学校の今後の運営等について検討を進める。						

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
5	2-2-1 教育のセーフティネットの充実	学校生活が充実していると感じている中学生の割合(中3)	61.0%	2016			63.0%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援		2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> すべての児童生徒が、個性や特性に応じて必要な教育を受けられるよう、きめ細かな指導や学習支援の充実を図る必要がある。 不登校児童生徒が増加傾向にある。 個別の配慮を要する児童生徒が増加しており、学校現場における支援介助員等の増員のニーズが高まっている。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後等の学習支援活動による学力の定着 ○不登校児童生徒に対する中間教室の運営、支援員の相談等による支援 ○新規不登校ゼロを目標とした取り組みの推進 ○外国籍児童生徒に対する日本語学級の運営による支援や、講師の配置による少人数学習等の推進 ○支援介助員等の配置、教職員への研修等を行い、校内支援体制の強化 ○特別支援学校に在籍する児童生徒との交流を進める副学籍制度の推進 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	教育振興諸経費	教育総務課	児童生徒の学力向上のため、放課後等の時間において、地域の人材等を活用した学習支援活動を行う。				
	教育相談研究事業	教育総務課	教育相談、中間教室の運営、日本語学級の運営等による、きめ細かな指導や学習支援を推進する。 支援シートを活用した、担任教諭による早期対応を推進する。				
	まなびサポート事業	家庭支援課	支援介助員を小中学校に配置するとともに、教職員の研修、学校現場へ検証、助言等を行い、学校内の支援体制の強化を図る。				
6	2-2-2 学校環境の充実	学校に行くのは楽しいと思う小学生の割合(小6)	88.1%	2017			89.0%
	全市戦略における位置付け		2 教育再生による確かな成長の支援		2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の登下校時の安全対策や、良好な学習環境の確保が重要であることから、通学路合同点検による対策の実施、学校施設の改修等を行う必要がある。 2018年夏の猛暑を受け、児童生徒の安全な学校生活を確保する必要がある。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の特別行事等の活動支援による教育内容の充実と保護者負担の軽減 ○地域児童見守りシステムの運用等の見直し検討や、通学路合同点検による登下校の安全確保 ○計画的な学校の改修や環境整備による教育環境の向上 ○小中学校へエアコンの導入 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	小中学校補助交付金	教育総務課	校外活動等の特別行事等への補助金等を交付し、教育内容の充実と保護者負担の軽減を図る。				
	学校安全支援事業	教育総務課	児童生徒の登下校時の安全を確保するため、地域児童見守りシステムの運用等の見直し検討や、関係機関等と連携した通学路合同点検を行う。				
	小中学校プール改修事業	教育総務課	老朽化した丘中学校のプール改修を行い、安全性の向上と教育環境の整備を図る。				
	小中学校施設改善事業	教育総務課	学校施設の営繕修繕を行うとともに、国道19号拡幅に伴い、木曾櫛川小学校の支障木伐採や工作物の移転等を行う。				
	小中学校大規模改修事業	教育総務課	吉田小学校及び塩尻中学校の大規模改修工事を行う。				
小中学校増築事業	教育総務課	広陵中学校の児童生徒数増加への対応として、プレハブ校舎の建設を行う。					
小中学校トイレ改修事業	教育総務課	木曾櫛川小学校のトイレの洋式化等を行い、快適な教育環境の整備を図る。					
小中学校貯水槽改修事業	教育総務課	老朽化した塩尻東小学校の貯水槽の改修、耐震化を行い、災害時に備えた安全な教育環境の整備を図る。					
小中学校空調設備整備事業	教育総務課	2020年夏からの使用開始に向けて、小中学校へエアコンを設置する。					

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
7	2-2-3 教育の経済的負担の軽減	すべての児童生徒が十分に学べる支援が提供されていると感じる市民の割合	34.4%	2017			41.0%
	全市戦略における位置付け	2 教育再生による確かな成長の支援	2-2 きめ細かな支援による平等な学習機会の提供				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由により、就学が困難な家庭に対する支援の必要性が高まっており、就学機会の確保に向けた取組みを進める必要がある。 ・国の奨学金制度改正に伴い、本市奨学資金貸与制度のあり方を検討する必要がある。 ・私立幼稚園の円滑な運営を支援するとともに、保護者の経済的負担を軽減を図る必要がある。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校に通う児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給による就学支援 ○私立高等学校等に対する学校運営等への助成による生徒の教育環境等への支援 ○高等学校、大学等へ進学する生徒に対する奨学資金の貸与による就学支援 ○奨学資金貸与制度の見直しの検討 ○市内の子どもが通う私立幼稚園に対し、就園奨励費補助金等による運営への支援と国の幼児教育無償化に向けた対応 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	教育振興扶助費	教育総務課	・小中学校へ通学する児童生徒の保護者に対し、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費の支給を行う。				
	高等学校等振興事業	教育総務課	・市内の生徒が通学する私立高等学校等に対し、学校運営等への助成を行う。				
奨学資金貸与事業特別会計繰出金	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校、大学等へ進学する生徒に対し、奨学資金の貸与を行う。 ・国等の動向に注視しながら、制度のあり方について検討する。 					
私立幼稚園支援補助金	こども課	・市内の子どもが通う私立幼稚園に対し、幼稚園就園奨励費補助金を支給するとともに、10月からの幼児教育無償化にも対応する。					
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
8	9-1-2 認知度向上や地域イメージの浸透(外部コミュニケーション)	学校給食レシピ公開サイトへのアクセス数(1か月あたり)	19,000件	2017			20,500件
	全市戦略における位置付け	9 地域ブランド・プロモーション	9-1 塩尻ブランドの確立				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・給食メニューの情報発信について、動画配信等を見やすくするため、学校給食レシピサイトの機能を拡充する必要がある。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食レシピサイト「こんこんレシピ」の運営と給食メニューの情報発信 ○新しい給食メニューの開発 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	学校給食レシピ公開事業	教育総務課	・新しい給食メニューの開発と、市内外へ向けて特色ある給食メニューの情報を発信する。				

市民交流センター・生涯学習部

事業部ミッション1

・文化、芸術、スポーツ等の地域資源を生かして、市民や来訪者の生涯学習や交流を促す場を整備するとともに、イベント・講演会等の開催による交流・集客の機会を創出します。
 ・集客核となる歴史的町並みを世代を越えた財産として、価値を高めるよう適切かつ持続的に保存・活用します。

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
1	4-1-2 歴史的資源の保存と活用	奈良井・木曾平沢の重要伝統的建造物群保存地区の町並みを誇りに思う市民の割合	75.1% [2017]			76.0%
	全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進	4-1 観光の振興		
	目標とのギャップ・課題	・重伝建の町並みを保存していくために、文化財として建物への修理・修景が必要となるが、区域内住民の世代交代や保存組織の人員変更に伴い、保存事業の重要性や基本的な制度の仕組みの理解について希薄化する傾向にある。				
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○修理・修景事業の実施 ○伝建地区内での事業要望のとりまとめ ○町並み相談会の開催 ○文化庁・県との事業費を含めた事業内容の確認 ○国重要文化財 小松家住宅耐震診断(2か年) 				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	重伝建整備事業	社会教育課	・伝建地区奈良井・木曾平沢地区内の建造物、工作物を、修理・修景という二つの手法により、文化財として保存及び景観整備を行うと共に、保存組織と連携し、町並み相談会、空き家の把握・利活用、住民への勉強会等を実施していく。			
	国指定文化財修理事業	社会教育課	・国指定文化財「小松家住宅」の耐震診断を実施し、今年度当市で開催される「重文民家の会」を契機に文化財保護の機運を高めていく。			

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
2	4-2-1 市街地の活性化と交流の促進					
	全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進	4-2 新たな交流・集客の推進		
	目標とのギャップ・課題					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○北部交流センターの開館に合わせ1年間をオープニングイヤーと位置づけ、様々な講演・イベントを開催。その後は事業の確立・定着・発展へと展開していく。 ○妊産婦・乳幼児からシニア世代まで、広い世代での利用が図られるよう周知を行う。 ○地元商店街、企業等と連携し「北部の核施設」としての価値を高める活動を展開する。 ○世代を超えた地域住民の交流、自主的な活動の支援による地域の活性化(広丘公民館) ○多様な住民のニーズに応え、活動に役立つ情報を提供できる図書館(広丘図書館) ○子育て中の家庭のために、子育ての不安軽減を図る支援や子どもの健全な育ちと子育ての喜びが分かち合えるよう、寄り添い支えあう支援を実施(子育て支援センター) 				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	北部交流センター管理諸経費	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に開館する北部交流センターを広く周知すると共に、各施設機能を十分に発揮するための連携した事業展開と、利用者が安全安心して利用できるよう建物を適切に管理する。 ・地元商店街、企業等と連携し「北部の核施設(広告塔的役割)」としての活動を展開する。 			

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
3	4-2-2 文化資源を活用した交流活動の促進(短歌フォーラムの実施)	短歌フォーラムへの投稿者数	16,452人 [2013]	14,305人			17,000人
	全市戦略における位置付け	4 地域資源を生かした交流の推進	4-2 新たな交流・集客の推進				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、若年層の投稿割合は増加しているが、一般投稿者数については年々減少している。大会規模が投稿者数に対し、当日の来場者数が見合っていないのが問題である。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○全国短歌フォーラムin塩尻の開催(第33・34・35回) ○短歌に関する資料収集、整理保管、歌人の遺品等の収蔵・短歌大学、企画展の開催 ○北部交流センターえんてらすを核とし、短歌館との連携により短歌に関する事業を実施 					
	当年度事務事業	当年度事業内容					
全国短歌フォーラム事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層を中心ターゲットとし、インターネットでの投稿が可能である旨の周知や、大会当日足を運んで頂けるようなコラボイベント等を検討していく。 ・一般の部の選者が交代する事で「プラス」になるよう、投稿や当日参加者の増につながる活動を実施する。 					
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
4	4-2-2 文化資源を活用した交流活動の促進(文化施設の運営・歴史遺産の活用)	文化施設入館者数	66,112人 [2016]				67,500人
	全市戦略における位置付け	4 地域資源を生かした交流の推進	4-2 新たな交流・集客の推進				
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設共に経年劣化が進んでおり、営繕修繕が必要である。また、入館者が減少傾向である一方、榊川文化施設では外国人入館者が増加傾向であり、受け入れ側の対策の充実が急務である。 ・平出遺跡公園ガイダンス棟や学校・地域等の地域学習や体験学習の重要さが高まり中、様々な団体や機関が連携し、多様でより効果的な学習機会の提供に至っていない。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○各館の管理運営 ○企画展、講座等の開催 ○歴史等地域遺産に関する体験を通じた学習機会の提供 ○市民ボランティア等の活躍による体験学習の充実 ○地域遺産等への関心を高める解り易いガイダンス活動の充実 ○地域と連携協力した学習活動の運営 ○平出遺跡公園及びガイダンス棟の効果的な運営と適切な管理 ○文化財や歴史文化資源等の収集・保管・調査研究を行う。 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	榊川文化施設運営事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の適切な運営と、特色ある講座等を開催すると共に、外国からの訪問者への対応や職員のスキルアップを図る。 				
	短歌館運営事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・北部交流センターと連携した事業展開と、建物修繕の適時実施・短歌大学の継続開催を行う。 				
	自然博物館運営事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・信州花フェスタの開催に併せ魅力ある企画の開催や、参加し易い自然科学講座、自然観察会等の開催を実施する。 				
	平出博物館運営事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文ブームを反映した縄文時代に焦点を当てた講座や企画展や発掘調査をととして平成を振り返る企画展など、時流に乗った事業展開を行う。 				
	平出遺跡公園事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・「遺跡公園」を歴史や文化の発信の場としてだけでなく、あらゆる世代の市民に活用していただけるよう、他部課や民間団体、学校等とも連携を図りつつ事業を実施する。 				
ひらいでの里魅力づくり事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・「縄文シティサミットinおじり」を絶好の機会としてとらえ、塩尻の魅力を全国に発信していく。地域資源を活用するため、これからの博物館の在り方等について懇談会等で調査検討する。 					
埋蔵文化財事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の整理及び記録保存を図ると共に、史跡等の保護や埋蔵文化財包蔵地等に係る保護指導や調査を行う。 					
本洗馬歴史の里運営事業	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・洗馬地区ゆかりの文物を中心に、地域に根差した事業展開を心掛け、地域づくりに役立つような講座や企画展を開催する。 					

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]		[2018]	[2019]	[2020]
5	4-2-3 スポーツを通じた交流の促進	建築工事の進捗(率)	0%	2017			100%
	全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進		4-2 新たな交流・集客の推進		
	目標とのギャップ・課題	新体育館の完成を見据え、運営管理者を早期に決定し運営の効率化と維持管理費の削減を目指す必要がある。					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○新体育館に係るCM(コンストラクション・マネジメント)を取り入れた実施設計、施工の実施 ○開館に向けた運営管理者の選定 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	新体育館建設事業	新体育館建設プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・設計施工一括発注方式により、実施設計を早期に完了させ工事施工を進める。 ・運営管理者の選定に向け、仕様書等を策定する。 				
6	4-2-3 スポーツを通じた交流の促進	スポーツ施設利用者数	502,335人	[2016]			510,000人
		週1回以上スポーツ活動を行う市民の割合	32.9%	[2017]			40.0%
	全市戦略における位置付け		4 地域資源を生かした交流の推進		4-2 新たな交流・集客の推進		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツをする市民の割合は国や県の平均を下回っている一方、体育施設の空きがない状況となっている。 ・市民祭参加者数は年々減少傾向であり、競技スポーツの振興を図っていく必要がある。しかし、各競技団体の指導者、大会運営を支える競技役員の高齢化が進んでおり、人員の確保が近々の課題である。 					
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○各種スポーツ教室 ○スポーツ振興事業の実施 ○市民体育祭や各種大会の運営委託により競技力を向上 ○市内10地区の地区体協によるスポーツ振興事業の実施 ○市体育協会の事務局運営の安定のための補助金支出 					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	競技力向上事業	スポーツ推進課	塩尻市体育協会やスポーツ推進委員・普及員と連携し、市民が身近にスポーツを感じていただけるような市民体育祭やスポーツ教室等を実施していく。				
体育施設管理運営事業	スポーツ推進課	日常の点検、整備を実施することにより、適正な維持管理を目指す。					
体育施設整備事業	スポーツ推進課	経年劣化により維持・改修工事等が必要な施設について、施設維持計画に基づき優先順位を付け、効率的に修繕や改修工事を実施していく。					

市民交流センター・生涯学習部

事業部ミッション2

・自発的に活動する意欲を持った市民に対して、生涯を通じた学び合いの場や芸術文化に触れる機会を提供することで、市民個人の豊かな生活の創造と地域活動の活性化を促進します。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	7-1-2 生きがいづくりと地域福祉活動の促進	自治会活動、ボランティア活動に参加する高齢者の割合	59.4%	[2017]			60.0%
	全市戦略における位置付け		7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築		7-1 社会や地域で活躍できる場の創出		
	目標とのギャップ・課題						
	3年間の概要	○ロマン大学の開講(19・20・21期)による高齢者生きがいづくりと社会貢献の促進					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	生涯学習支援事業(ロマン大学事業補助金)	社会教育課	・シニア世代が新しい知識や技能を身につけ、併せて仲間づくりの輪を広げながら、生きがいを持って充実した人生を送るとともに、積極的に社会参加いただけるようなカリキュラムを実施				
2	7-2-1 生涯学習環境の充実	公民館の来館者数	228,120人	[2016]			230,000人
		図書館や公民館などの利用環境が整っていると感じる市民の割合	69.9%	[2017]			70.0%
	全市戦略における位置付け		7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築		7-2 生涯を通じた学びと知識や経験の継承		
	目標とのギャップ・課題	・塩尻市公民館事業計画の重点目標に掲げている「地域の実態を踏まえ、社会の要請がある「現代的な課題」について学ぶ学習テーマを中心に学級講座を充実させていく」ことについて現行行っている講座等への反映が不足している状況であるので、社会教育施設である公民館が生涯学習の拠点であるとともに、地域づくりの担い手育成に関わっていくことが求められている。 ・図書館本館・分館の課題解決型図書館としての機能をさらに高める必要がある。					
	3年間の概要	○公民館事業(各種教室、講座、講演会等) ○図書館本館・分館の運営と機能強化					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	生涯学習支援事業	社会教育課	・生涯学習のための学習環境の「場」を整え併せて「機会」を提供していく。				
	公民館事業	社会教育課	・各地区での様々な課題に対し、住民参加型の肩の凝らない「WS」の事例等を各地区館で共有し、「課題解決」のための手法を研究・展開していく。				
図書館事業諸経費	図書館	・北部交流センター・広丘図書館の開館と楢川分館の移転開館を計画どおり実施し、図書館本館・分館における図書館サービスを充実させ、市民の学びや地域活動に役立つ質の高い情報提供を行う。					
総合文化センター管理事業(施設改修分)	社会教育課	・既存トイレの洋式への改修及び受動喫煙防止対策(喫煙所の整備)を行う。					
公民館分館施設整備事業	社会教育課	・申請のあった、5分館の改修工事について補助金を交付する。					
3	7-2-2 文化芸術活動の支援	芸術文化事業参加団体数	160団体	[2016]			175団体
		音楽や文化、芸術活動に触れたり参加したりする機会に恵まれていると感じる市民の割合	42.4%	[2017]			43.0%
	全市戦略における位置付け		7 生涯現役で社会貢献できる仕組みの構築		7-2 生涯を通じた学びと知識や経験の継承		
	目標とのギャップ・課題	・文化祭等を開催する活動主体団体の高齢化が進んでおり、自主運営に支障が出ている。また、事業が前年踏襲になっており、来場者の減少も進んでいる。					
	3年間の概要	○芸術文化事業(5事業)の開催 ○芸術文化活動者支援 ○指定管理 ○冷却塔更新工事・給排水衛生ポンプ・トップライト改修工事					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	芸術文化事業	社会教育課	・芸術文化事業補助金を交付している「塩尻市芸術文化振興協会」と連携し、文化祭開催日の工夫(1~3日固定→金~日)や市芸術文化事業の内容について充実した内容となるよう実施していく。				
文化会館運営事業	社会教育課	・来場者が快適に利用できるよう指定管理者による管理運営充実と、ニーズに応える事ができるよう芸術文化鑑賞事業を計画・実施していく。					
文化会館改修事業	社会教育課	・運営事業と併せ、来場者が安心安全に利用いただけるよう計画的な施設及び設備の改修を実施していく。(空調機冷却塔更新・給排水ポンプ更新工事)					

市民交流センター・生涯学習部

事業部ミッション3

・市民交流センター機能を中心に、知恵と意欲を持つ人材や団体の活発な活動・交流を促進するとともに、情報の集積拠点として、多様な人材が求める知識の習得を支援することにより、新たな知恵と価値が創出される場を提供します。

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
1	10-2-1 市民活動の支援と人の交流の促進	まちづくりチャレンジ事業を実施し、自立運営している団体数	20団体 [2017]			30団体
		市民交流センター貸館利用率	79.5% [2016]			80.0%
	全市戦略における位置付け	10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり		10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政と市民が対等なパートナーシップによって公共を担う協働のまちづくりを推進するため、社会課題や地域課題を解決する協働の担い手の更なる育成、支援が必要である。 市民交流センターの目的である知恵の交流を通じた人づくりの場の実現を目指すため、市民の様々な活動のための基盤や拠点を提供するとともに、市民同士の交流を促す事業展開が必要である。 開館9年目となり、機械設備の不具合等が発生しているため、計画的な維持管理が必要である。 				
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○講習会や研修会の開催、まちづくりチャレンジ事業の運営等による市民活動団体の育成、支援 ○新たな知恵の交流を生み出すため、市民交流センターの機能を活用し、人の交流を生み出す事業を展開 ○長期修繕計画に基づく建物全体の長寿命化の推進 				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	協働のまちづくり推進事業	交流支援課	・中間支援組織との連携による講演会・研修会、まちづくりフェスティバルの開催や、まちづくりチャレンジ事業実施団体への補助金交付、市民大学プラットフォームを生かした市民講座などの協働につながる事業を展開する。			
	市民交流センター交流企画事業	交流支援課	・五つの重点分野「図書館、子育て支援・青少年交流、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援」を基本に、機能融合を意識した事業を展開するため、こどもおじり、えんぱーく科学館、IT講座、シニア講座などの交流事業を企画、運営する。			
	市民交流センター管理諸経費	交流支援課	・市民交流センターの長寿命化を図るための計画的な修繕として、空調機器整備(中高性能フィルター交換等)、消防設備整備(蓄電池交換等)、テラス防水塗装などを実施する。			
2	10-2-2 確かな情報による課題解決の応援	レファレンス受付件数	2,410件 [2016]			2,900件
		図書館の市民1人当たり貸出冊数	9.7冊 [2016]			10.0冊
	全市戦略における位置付け	10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり		10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供		
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな情報の基盤となる資料の充実を図り、司書の専門性を高め情報提供能力を向上させ、課題解決型図書館としての機能をさらに高める必要がある。 ・確かで役に立つ情報に加えてデジタル情報の提供や地域資料のデジタルアーカイブ化などが求められている。 ・本館・分館の資料更新の必要性に加え、広丘図書館の開館により蔵書収容能力及び利用者の増加が見込まれており、資料収集を強化する必要がある。 ・重要な地域資料の一つである古田晃記念館所蔵資料の活用を進める必要がある。 				
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決型図書館の基盤となる図書館資料の収集・提供及びデジタル資料の充実と活用 ○市民の生活、仕事、学習を支援する課題解決型図書館の運営 ○北部交流センター広丘図書館の開館と櫛川分館の移転 ○古田晃記念館の運営と所蔵資料の活用 				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	図書館サービス基盤整備事業	図書館	・図書館サービスの基盤となる図書館資料の収集・活用を図るとともに、有料データベースの利用促進や地域資料のデジタルアーカイブ化を含め、多様な資料提供ができるよう機能強化を進める。北部交流センター広丘図書館の開館及び櫛川分館移転にあたり資料収集を進める。			
	図書館事業諸経費	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の充実と図書館員のレファレンス能力の向上により課題解決型図書館としての機能を高め、多様な企画による図書館サービスの提供により利用拡大を図る。 ・会計年度任用職員制度導入に向けて、図書館員の高い専門性を維持するための人材確保と育成を強化する制度設計を行う。 ・北部交流センター広丘図書館の開館及び櫛川分館移転を実施し利用拡大を図る。 			
	古田晃記念館諸経費	図書館	・古田晃記念館の運営と所蔵資料の活用に向けた取組を進める。			

No.	主な取り組み	指標	現状値			目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
3	10-2-2 確かな情報による課題解決の応援	本の寺子屋への参加者数(講演会聴講者)	1,239人 [2017]			1,000人
	全市戦略における位置付け	10 地域課題を自ら解決できる「人」と「場」の基盤づくり	10-2 知恵の交流を通じた人づくりの場の提供			
	目標とのギャップ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・進化する図書館として新たなサービスの展開により全国的な受賞を重ねて注目を集めるなどブランド力を高めていることをいかして、多様な市民ニーズに対応するサービス展開によりさらなる利用拡大が求められている。 ・子どもたちの読書活動をさらに推進する必要がある。 				
	3年間の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「本の寺子屋」を中心とした企画事業の充実 ○「子ども本の寺子屋」「絵本プレゼント」などによる子どもの読書活動の推進 ○PTA親子文庫、市民読書活動グループとの連携と図書館ボランティア育成講座の開催 				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	市民読書活動推進事業	図書館	・PTA親子文庫の改善に向けた検討及び市民読書活動グループとの連携、学校巡回読書イベントの開催、絵本プレゼントなどにより、子どもの読書推進を図るとともに読書活動ボランティアの活躍の場を広げる。			
	本の寺子屋推進事業	図書館	・信州しおじり本の寺子屋・子ども本の寺子屋の開催によりブランド力を高め、本の魅力や読書の楽しみについて情報発信を強化し、図書館の利用拡大と読書活動の推進を図る。			

市民交流センター・生涯学習部

事業部ミッション4

子どもたちが、個性や能力を発揮し、自らの夢の実現に向けて意欲的に取り組む様々な体験学習を、地域とともに推進します。

No.	主な取り組み	指標	現状値	進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]
1	2-1-3 体験型学習の推進	すべての児童・生徒が十分に学べる支援が提供されていると感じる市民の割合	34.4% [2017]			41.0%
	全市戦略における位置付け	2 教育再生による確かな成長の支援	2-1 特色ある教育による知・徳・体の向上			
	目標とのギャップ・課題	・青少年健全育成を推進するため、子ども会育成会等への補助金をはじめ、補導委員の活動など、幅広い取組を実施している。また、平成29年度からは、地域で主体的に活躍できる子どもの育成を図るため、ジュニアリーダー養成事業を創設したことから、平成30年度には更なる事業展開を図る必要がある。また、青少年の補導件数もここ数年「0」であるので青少年補導センターのあり方、活動内容の見直しが必要である。				
	3年間の概要	○青少年補導センターの運営の見直し ○青少年健全育成事業補助金等の交付 ○姉妹都市ミシャワカ派遣事業の実施 ○柏茂会館及び塩嶺体験学習の家の適切な管理運営				
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容			
	青少年育成事業	男女共同参画・若者サポート課	・青少年の健全育成を推進するため、子ども会育成会等へ補助金を交付し、地域における子どもたちの自主性や社会性の向上を図る。また、青少年補導センターの活動内容を時代や実態に即したものと見直す。			
	青少年育成施設運営事業	社会教育課	・単に宿泊施設としてではなく、青少年の健全育成を目的として、体験・探求学習を通して「社会を生きぬく力」を身につけるため、柏茂会館及び塩嶺体験学習の家を活用する。			

市民交流センター・生涯学習部

事業部ミッション5

・男女がともに創る「子育てしたくなるまち」に向けて住みやすい環境を整えます。
 ・子育て世代や若者、学生に対して、誰でもがいきいきと暮らせる持続可能な地域社会の実現のため、悩みや課題の解決に向けた相談体制を整えます。

No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
1	9-2-1 移住・定住希望者へのプロモーション(結婚支援)	結婚・出産に向けた意識改革講演会数	1回 [2017]				2回
		ライフデザイン・ファイナンシャルプラン講座数	4回 [2017]				9回
	全市戦略における位置付け	9 地域ブランド・プロモーション	9-2 子育て世代や若者の移住定住の促進				
	目標とのギャップ・課題	・晩婚化や未婚率の上昇が少子化に影響を与えているなか、結婚や出産に向かう世代を対象に、講座などを開催してきた。しかし、未婚の男女を対象に結婚意識の向上を目的に開催した講座では、応募者数が期待を大きく下回る結果となった。若者の結婚観に大きな変化が生じていることは明らかであり、今後の事業推進に向け、結婚・出産に対する不安感や負担感を解消し、安心して子育てができるよう、対象世代のニーズを把握しながら施策を展開することが課題となる。					
	3年間の概要	○結婚・出産応援講座の開催					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
男女共同参画事業	男女共同参画・若者サポート課	・結婚・妊娠・出産・子育て等ライフステージに合わせた講座を開催し、男女がともに創る「子育てしたくなるまち」を目指した環境づくりを推進する。					
ふれあいプラザ運営事業	男女共同参画・若者サポート課	・男女が様々な知識や技術を高め地域社会や職場で活躍できるよう、資格取得講座を開催する。					
No.	主な取り組み	指標	現状値		進捗		目標値
			値 [基準年度]	[2018]	[2019]	[2020]	
2	若者の社会復帰への応援	人権教育推進会議及び人権学習会への参加人数	2,364人 [2017]				2,500人
	全市戦略における位置付け	その他大型・主要事業	その他大型・主要事業				
	目標とのギャップ・課題	・乳幼児から若者(広義で40歳未満)までの全体を俯瞰し対策を講じるため、「元気っ子応援事業」以後の若者をサポートする新設体制での対策実行が求められている。					
	3年間の概要	○18歳以降の若者を対象とする相談業務を主とした若者サポート体制、ネットワークの確立					
	当年度事務事業	主管課	当年度事業内容				
	若者サポート事業	男女共同参画・若者サポート課	・ニート、ひきこもり等に関する相談業務を実施し、関係団体と連携して個々の状況に応じた支援に繋げることにより課題を抱える若者の社会的自立を支援する。				
社会人権教育推進事業	男女共同参画・若者サポート課	・地区ごとの人権教育推進会議、分館単位の人権学習会、豊かな心を育む市民の集い等を開催し人権教育を推進する。					
人権推進啓発事業	男女共同参画・若者サポート課	・小中学校や人権擁護団体と連携してCAP研修、デートDV研修等を開催し人権擁護、人権啓発活動を推進する。					

こども教育部 事務事業一覧

事業部ミッション1

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実するため、妊娠、出産から子育てまで切れ目のない支援体制の一層の充実を図るとともに、子育ての負担軽減や家庭教育の支援、仕事と育児の両立支援などを推進する。

No.	主な取り組み	対応する事務事業(○自己点検評価対象事業)			
		No.	事業名	担当	評価
1	地域の子育て環境の充実	①	にぎやか家庭応援事業(子育て支援分)	こども課	
		②	子ども・子育て会議運営事業	こども課	
		③	子育て支援センター事業	子育て支援センター	○
		④	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援センター	
		⑤	こども広場事業	子育て支援センター	
2	子育て世帯への経済的支援	①	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)	こども課	○
3	家庭支援の充実	①	元気っ子応援事業	家庭支援課	
		②	家庭支援推進事業	家庭支援課	
		③	こどもの未来応援事業	家庭支援課	
4	保育環境の充実	①	保育所施設改善事業	教育総務課	
		②	保育所施設空調設備整備事業	教育総務課	
		③	保育所運営費	こども課	
		④	給食運営費	こども課	
		⑤	育児支援推進事業	こども課	
		⑥	民間保育所支援事業	こども課	
		⑦	保育補助員設置事業	こども課	
5	放課後児童の居場所確保	①	広丘児童館建設事業	教育総務課	
		②	児童館・児童クラブ運営費	こども課	
		③	放課後キッズクラブ運営費	こども課	
		④	児童館・児童クラブ施設空調設備整備事業	教育総務課	

事業部ミッション2

すべての子どもたちが、「社会を生き抜く力」を備え、郷土を知り、誇りと愛着をもって成長できることを目指し、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を、家庭、学校、地域、行政が連携して推進する。

1	時代の変化に対応した学力の向上	①	小学校英語活動サポート事業	教育総務課	○
		②	教育センター情報教育推進費	教育総務課	
		③	小中学校情報教育推進費	教育総務課	
		④	小中学校新学習指導要領対応事業	教育総務課	
2	健やかな成長の支援	①	給食運営事業事務諸経費	教育総務課	
		②	こどもの未来応援事業	家庭支援課	
3	体験型学習の推進	①	こども未来塾等運営事業	教育総務課	
4	地域と連携した教育体制の充実	①	小中学校特色ある教育活動事業	教育総務課	
		②	地域連携教育推進事業	教育総務課	○
5	教育のセーフティネットの充実	①	教育振興諸経費	教育総務課	
		②	教育相談研究事業	教育総務課	
		③	まなびサポート事業	家庭支援課	○
6	学校環境の充実	①	小中学校補助交付金	教育総務課	
		②	学校安全支援事業	教育総務課	
		③	小中学校プール改修事業	教育総務課	
		④	小中学校施設改善事業	教育総務課	
		⑤	小中学校大規模改修事業	教育総務課	
		⑥	小中学校増築事業	教育総務課	
		⑦	小中学校トイレ改修事業	教育総務課	
		⑧	小中学校貯水槽改修事業	教育総務課	
		⑨	小中学校空調設備整備事業	教育総務課	
7	教育の経済的負担の軽減	①	教育振興扶助費	教育総務課	
		②	高等学校等振興事業	教育総務課	
		③	奨学資金貸与事業特別会計繰出金	教育総務課	
		④	私立幼稚園支援補助金	教育総務課	
8	認知度向上や地域イメージの浸透(外部コミュニケーション)	①	学校給食レシピ公開事業	教育総務課	

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	子育て支援センター事業		担当課	子育て支援センター						
目的	対象:	子育て家庭及び地域住民			体系	1-1-2				
	意図:	子育ての負担軽減と、子どもの育ちを促す地域子育て力を高める。			新/継	継続				
手段:	施設の維持、管理運営と子育て支援に関わる講座、研修会の開催と子育てに関する情報提供、おでかけ支援センター等を実施				区分	ソフト				
					会計	一般				
年度別事業内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度					
	○子育て支援に関する講座等の開催 ○おでかけ支援センター出前支援の充実 ○施設の維持管理 ○イクメン手帳・孫育て手帳作成 ○北部子育て支援センター移転に伴うPR事業 ○北部子育て支援センタープレイルームの壁画作成		○子育て支援に関する講座等の開催 ○おでかけ支援センター出前支援の充実 ○施設の維持管理 ○北部子育て支援センター移転に伴うリーフレットのリニューアル ○北部交流センターオープン記念ワークショップ・記念講演会等の実施		○子育て支援に関する講座等の開催 ○おでかけ支援センター出前支援の充実 ○施設の維持管理 ○ワークショップの開催					
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	4,447	予算額(A)	(千円)	5,903	計画額(A)	(千円)	予算対応	
	臨時職員賃金		1,541	北部子育て支援センター壁画作成委託料		972				
	講師謝礼		411	臨時職員賃金		2,151				
	その他		2,495	その他		2,780				
	特定	80	一般	4,367	特定	0	一般	5,903	特定	一般
人件費	正規職員	業務量	4.58	人	人件費	30,869	業務量	人	人件費	0
	嘱託員	業務量	5.02	人	人件費	14,849	業務量	人	人件費	0
合計	人件費合計(B)		45,718	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		50,165	事業費合計(A)+(B)		5,903	事業費合計(A)+(B)			
評価指標1単位当たりコスト	評価指標(円/単位)	1,857,976		評価指標(円/単位)			評価指標(円/単位)			

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
お出かけ支援センター開催数	15	27	27	13		36			36

○事中評価

評価視点												今後の方向性															
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性															
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3	4		④	②	①	⑤											
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		③	⑤													
総合評価判定				総合評価				B					⑥														
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小				現状維持				拡大			
前年度の課題等に対する取組状況												北部子育て支援センターが新施設に移転したことへの関心や、壁画見学ツアーの実施、著名な絵本作家によるオープニングイベントの開催等により、北部子育て支援センターの新規利用者数が大幅に増加した。えんばーくの支援センター利用者も前年度利用数を維持しており、全体的に利用者数は増加している。さらに健康づくり課や家庭支援課との連携をとりながら子育て支援センターへお出かけに促す家庭にも周知を図っている。															
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												プレイルームの利用者が、平日は母親中心だが、週末や祝日は父親のみ、または父母での利用者が増えてきている。父親が子育てを身近に感じ子どもとの関わりを深めたり、子育てへの関心をさらに高めていけるような環境を整えていく必要がある。															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)																											
第1次評価コメント																											
第2次評価コメント																											

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)	
取組内容	市内2か所の子育て支援センターで、乳幼児とその保護者へ交流の場を提供するとともに、子育て相談の実施、子育て情報の提供や子育てに関する講座を開催した。また、北部子育て支援センター移転に伴うPR事業としてワークショップの開催や新施設利用に向けての利用者アンケートを実施した。お出かけ支援センターや地区で開催されている子育てサロン等へ職員が向向き、出前支援を行った。	
成果	核家族化や地域のつながりが希薄化するなかで、母親の子育てが孤立化し、子育ての不安や負担感が増える中、子育て中の親子が気軽に集い相互交流ができる場を提供することで子育ての不安や悩みの軽減につながった。ワークショップ等の開催により新施設への期待や関心を高めることができた。また、職員が地域に向向くことで、地域の子育て団体との連携が深まり、地域の子育て力の強化につながった。	
課題	プレイルームの利用者数は増加傾向にあるが、リピーターが多いため、新規利用者の拡大を図る必要がある。子育て支援センターを利用できない家庭への対応を他課や地域と連携しながら情報発信していく必要がある。	

作成担当者	こども教育部	子育て支援センター	北部子育て支援センター	職名	課長補佐	氏名	清水 美津	連絡先(内線)	
最終評価者	子育て支援センター	所長	氏名	羽多野 紀子	担当係長	北部子育て支援センター	氏名	清水 美津	

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>市民アンケートから、塩尻市の子育て環境は一定の評価が得られていることがわかる。きめ細かな諸施策、様々なイベント等の一層の充実を期待する。</p> <p>支援センターで交流が深まること大きな助けになると思うので、人との交流が苦手な方が気楽に参加できる企画等が増えることを期待する</p> <p>支援の輪が家庭まで行き届き、親たちの不安の解消につながっている。</p> <p>利用できない家族への対応について、子どもが落ち着かず集団に入っていけないなどの悩みがあると思う。訪問など、一昨年、千曲市で助産師が活動した事例があるので参考になるのではないかな。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>北部地域の交流拠点としての北部交流センター「えんてらす」開設の機会を捉え、複合施設の利点を生かして、公民館との連携を図ることもあり得るのではないかな。</p> <p>市は、場所と機会を提供し、住民同士の自発的な交流を促し、将来的には担い手になってもらうような方法が必要である。</p> <p>子育て支援センターに出かけたくても出かけられない家庭へのアウトリーチも充実させていただきたい</p>
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<p>図書館や公民館との複合施設の利を活かし、人と人との交流の場の提供や交流の促進に力を入れ、子育て情報の提供や子育て相談を実施し、子育ての不安や負担の軽減につなげてきたところであるが、さらに地域の子育て力を高めるために、公民館利用者が子育て家庭と交流ができる「ふれあい遊び交流」や地域住民に向けた「ファミリーサポーター活動紹介」等を実施し、地域ぐるみで子育て世代への理解を深め、支援活動につなげていきたい。</p> <p>子育て支援センターを利用しづらい家庭については、対象となる家庭の把握が課題であるが、健康づくり課の保健師や助産師、家庭支援課との連携を深めながら支援の方向を探っていきたい。また、0～3か月未満の子どもがいる家庭の希望者に実施しているファミリーサポート事業の訪問説明において、子育て支援センターの周知にも重点をおいていく。</p>
---------------	--

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	にぎやか家庭応援事業(保育料減免分)		担当課	こども課		
目的	対象	市内保育所等に通う3歳以上の児童の保護者			体系	1-1-3
	意図	経済的負担軽減による多子世帯支援とひとり親支援			新/継	継続
手段	第2子の保育料を50%、第3子以降の保育料を100%減免する。寡婦(夫)控除のみなし適用を実施する。				区分	ソフト
					会計	一般
年度別事業内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○寡婦(夫)控除のみなし適用 ○にぎやか家庭保育料等補助金の交付		○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○寡婦(夫)控除のみなし適用 ○にぎやか家庭保育料等補助金の交付(副食費減免及び認可外保育施設減免)		○第2子50%、第3子100%の保育料減免 ○寡婦(夫)控除のみなし適用 ○にぎやか家庭保育料等補助金の交付(副食費減免及び認可外保育施設減免)	
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	97,667	予算額(A)	(千円)	59,561
	にぎやか家庭保育料等補助金		7,807	にぎやか家庭保育料等補助金		13,494
	保育料減免分		89,722	保育料減免分		46,067
	寡婦(夫)控除のみなし適用分		138	寡婦(夫)控除のみなし適用分		
	特定	6,788	一般	90,879	特定	3,762
				一般		55,799
	計画額(A)	(千円)		計画額(A)	(千円)	
						予算対応

人件費	正規職員	業務量	0.75	人	人件費	5,055	業務量		人	人件費	0
	嘱託員	業務量	0.00	人	人件費	0	業務量		人	人件費	0
	合計	人件費合計(B)		5,055	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		102,722	事業費合計(A)+(B)		59,561	事業費合計(A)+(B)				

評価指標1単位当たりコスト	評価指標(円/単位)	15,184	評価指標(円/単位)		評価指標(円/単位)	
---------------	------------	--------	------------	--	------------	--

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
多子世帯の保育料減免延べ人数	3,001	6,765	6,500	2,927		3,250			0
寡婦(夫)控除のみなし適用延べ人数	0	14	5	0		5			5

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①			
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3	4		現状維持	③	⑤				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥	④				
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小	現状維持	拡大	
前年度の課題等に対する取組状況												10月から実施される幼児教育・保育の無償化により、幼稚園の保育料を補助する必要がなくなった。それに代わり、副食費の減免対象者を国基準より拡大して交付することになった。 ●国基準→市民税77,100円以下、第3子以降(小学校3年生まで)全額減免 ●市基準(国基準の上乗せ)→第2子は半額、第3子以降は全額減免。上の子の年齢制限なし。 認可外保育施設については、保育料の無償化となる世帯は、保育を必要とする事由がないため、保育を必要とする事由がない世帯については、引き続き、第2子半額、第3子以降無償となるよう補助を行う。				コスト投入の方向性			
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												7月中に市内幼稚園長との打ち合わせ会議を複数回開催し、無償化に伴う手続や、副食費の考え方について協議を行った。幼稚園に対して、副食費の減免について、毎月の実績報告と請求書を提出していただき、支払う事務が生じた。							
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												にぎやか家庭保育料等補助事業については、認可外保育施設の利用児童で「保育を必要とする事由」がない場合の、第2子半額、第3子以降無償となるよう補助を行う。 本年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、令和元年度は半年分の経費だった副食費の補助など、通年予算が必要である。幼児教育・保育の無償化に伴う保育料は、平成30年度決算301,781千円に対し、令和2年度は約110,000千円を見込んでいる。							

第1次評価コメント	
第2次評価コメント	

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)
取組内容	にぎやか家庭保育料減免分として、保育所等を利用している年少以上の児童を対象として第2子半額、第3子無料となるよう保育料の減免を実施した。(延べ5,985人、89,722,450円)また、にぎやか家庭保育料等補助金として、幼稚園を利用している児童については、幼稚園就園奨励費の該当とならない場合でも第2子半額、第3子無料となるよう入園料、保育料の補助を行った。(54人、5,387,700円)認可外保育施設についても、第2子半額、第3子無料となるよう入園料、保育料の補助を行った。(11人、2,420,000円)
成果	私立幼稚園や認可外保育所に対するにぎやか家庭保育料等補助金により、多子世帯の経済的負担を軽減することができた。
課題	令和元年10月から幼児教育・保育無償化が実施されるため、本補助事業についても整理する必要がある。

作成担当者	こども教育部	こども課	こども応援係	職名	主事	氏名	黒澤 典子	連絡先(内線)	3173
最終評価者	こども課長	氏名	花岡 昇	担当係長	こども応援係長	氏名	紅林 良一		

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>国基準より拡大して交付されていることを知らない人も多く、塩尻の基準が当たり前だと思われがちだが、比べるものがなくありがたみがわかりづらいかもしれない。</p> <p>保育料無償化などの経済面の施策・支援は国が担い、地方自治体には、ソフト面での充実が求められると思われる。</p> <p>国の施策によるところもあるが、市民のニーズを汲んで施策を展開してほしい。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>電子申請導入による入園調整業務の効率化を図り、業務改善ができたことは評価するが、引き続き不断の見直しをし、なお一層保育環境の充実（保育士待遇改善・配置基準の見直し）による保育の質を高めることが必要である。</p> <p>幼保無償化に伴う手続き等の市民の混乱の軽減、保育園入所申請における電子化の利便性の向上に努めていただきたい。また、入所における保護者の不安軽減のため、電子化による効率化と合わせて、顔の見える関係も大切にしていきたい。</p>
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<p>保育園入所申請については、令和2年度においても電子申請を原則としながら、利用者にとって更に利用しやすいシステムとなるよう改善改良を行いたい。併せて、児童館登録申請においても電子申請システムの導入を図り、利用者の利便性向上と児童館職員の事務負担軽減につなげたい。</p> <p>制度開始から半年が経過した幼保無償化については、今後も国の制度周知に努めるとともに、本市独自減免措置である本事業の周知に努めたい。</p> <p>保育の質の向上については、ICTの導入等による業務負担軽減を図るとともに、令和2年度から創設する保育人材バンクの活用を図り、保育人材の確保に努め、本来業務に専念できる環境整備に努めたい。</p>
---------------	---

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		小学校英語活動サポート事業				担当課		教育総務課										
目的	対象	小学生				体系		2-1-1										
	意図	確かな学力やグローバルな感覚を育成する。				新/継		継続										
手段	国際理解講師、ALT、英語教育担当指導主事による分かりやすい英語教育と国際理解教育の実施				区分		ソフト											
					会計		一般											
年度別事業内容	平成30年度				令和元年度				令和2年度									
	○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 ○ALTの配置				○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 ○ALTの配置				○国際理解講師の配置 ○英語授業支援 ○小中学校の英語教育の連携 ○英語教育の研究 ○ALTの配置									
事業費・財源	決算額(A)		(千円)		5,244	予算額(A)		(千円)		5,672	計画額(A)		(千円)		予算対応			
	外国語指導助手配置事業委託料				5,058	外国語指導助手配置事業委託料				5,416								
	小学校英語活動研究指定校補助金				100	小学校英語活動研究指定校補助金				100								
	その他				86	その他				156								
特定		0		一般	5,244		特定		0		一般	5,672		特定	一般			
人件費	正規職員	業務量	1.01	人	人件費	6,807		業務量		人	人件費	0		業務量	人	人件費	0	
	嘱託員	業務量	0.00	人	人件費	0		業務量		人	人件費	0		業務量	人	人件費	0	
	合計	人件費合計(B)				6,807		人件費合計(B)				0		人件費合計(B)				0
事業費合計		事業費合計(A)+(B)				12,051		事業費合計(A)+(B)				5,672		事業費合計(A)+(B)				
評価指標1単位当たりコスト	評価指標(円/単位)				2,410,280		評価指標(円/単位)						評価指標(円/単位)					

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
国際理解講師の配置人数	5	5	5	5		5			5
小学校5・6年生の授業時数(年間)	25	55	55	35		70			70

○事中評価

評価視点												今後の方向性															
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	コスト投入の方向性														
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3	4		④	②	①												
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		現状維持	③	⑤	④											
総合評価判定				総合評価				B					⑥	⑦													
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小				現状維持				拡大			
前年度の課題等に対する取組状況		先行実施に対応する授業時数の確保のため、2018年度に行ったALTの授業配置率の結果を参考に、国際理解講師、ALT、英語専科教員の配置校を検証し、学校の実情や講師の能力を考慮した適切な配置を行うことで、子どもたちが英語に触れる機会を確保するとともに、教職員の負担軽減につながっている。																									
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		2020年度からの小学校英語の教科化に対応するため、英語教育担当指導主事を核として、教職員の指導力強化や小中学校の連携などについて、より具体的な取組みを進めていく必要がある。 また、担任主導の授業展開に移行するために、国際理解講師やALTとの連携が更に重要となる。																									
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		2019年度から英語教科専科(県配置)が1名新たに増員され、市内では3校に2人の配置となった。子どもへの授業機会の均等化や教職員の負担軽減のため、国際理解講師・ALTの人数の見直しについて、検討する必要がある。 また、ALTの雇用について、民間派遣も含めた採用形態・採用方法について、検討する必要がある。																									
第1次評価コメント																											
第2次評価コメント																											

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)
取組内容	令和2年度からの小学校英語の教科化・早期化及び令和元年度からの先行実施に対応するため、英語教育担当指導主事を中核として、指定校における授業研究や教材研究、各校における授業支援(延べ131回)や研修会(延べ32回)を行うなど、教員の指導力向上や小中学校の連携強化に向けて、具体的な取組みを進めた。
成果	英語教育担当指導主事による授業支援や、英語教育研究協議会との授業研究などの連携により、担任主導の授業展開への理解や不安解消、教員の英語指導力の向上につながった。 先行実施に対応する授業時数の確保について、各小学校における具体的な方針決定につながり、2019年度から全小学校で先行実施(年間70時間)による英語活動の授業に取組むこととなった。
課題	国際理解講師、ALT、英語専科教員(県配置)と担任の関わり方や役割分担を再確認し、市内小学校の英語教育の進め方を明確にしていく必要がある。

作成担当者	子ども教育部	教育総務課	学校支援係	職名	事務員	氏名	山田 愛	連絡先(内線)	3113
最終評価者	教育総務課長	氏名	太田 文和	担当係長	学校支援係長	氏名	武井 充		

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>英語指導主事の配置や悉皆の研修は、担任にとって心の負担軽減につながっている。担任が先頭に立ち英語を表現し、これを子供と楽しんでいることが感じられ、現場の方々の意欲に敬意と感謝を表したい。</p> <p>今後、小学校英語学習が進むにつれて、中学校の英語力は、格段に進化発展していくと思われる。市全体で「英語トーク・パフォーマンス」が企画されることを期待する。</p> <p>実際に言葉が通じてコミュニケーションがうまくいく体験や、言葉を見て聞いて理解できることを体験してほしい。</p> <p>英語力と同時に身に付けたい自己表現力を同時進行で進めていただきたい。</p>
---------------------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>英語教育の明確な進め方を具体的で実行性のあるものとする。</p> <p>教員（教える側）、児童（教えられる側）、環境（学校）の観点から何が最も効果的であるか考える。</p> <p>小中学校の連携における取り組みについて、より具体的に示していただきたい。</p>
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度において、小学生及び中学生を対象とした「English Camp」を計画しており、学校以外で英語や異文化に触れる機会を提供していく。 ・子どもたちが「楽しい」と実感できる授業となるよう、担任教諭、国際理解講師、ALT、英語専科教員の役割を明確にして、対話を基本とした授業展開を図る。 ・小中学校の連携については、中学校教諭の小学校授業参観、国際理解講師や英語専科教員による中学校授業参観、英語教育研究協議会の合同開催などの取り組みを進めていく。
---------------	--

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	地域連携教育推進事業				担当課	教育総務課										
目的	対象	児童生徒、保護者、地域、学校				体系	2-1-4									
	意図	地域と連携した学習意欲の向上及び社会的・職業的に自立した人材の育成、児童生徒の知力、体力、創造力、創造力などの向上を図る。				新/継	継続									
手段	地域連携コーディネーター及び学校支援コーディネーターの配置、コミュニティスクール関連の研修、児童生徒のキャリア教育推進、学校支援ボランティアによる支援の充実、地域における教育振興の推進				区分	ソフト										
					会計	一般										
年度別事業内容	平成30年度				令和元年度				令和2年度							
	○コミュニティ・スクールの推進 ○キャリア教育支援体制確立に向けた調査・研究 ○檜川地区の教育振興調査研究				○コミュニティ・スクールの推進 ○キャリア教育支援 ○檜川地区の義務教育学校設置準備(R4設置想定)				○コミュニティ・スクールの推進 ○キャリア教育支援 ○檜川地区の義務教育学校設置準備(R4設置想定)							
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	8,981	予算額(A)	(千円)	9,700	計画額(A)	(千円)	予算対応							
	臨時職員賃金		3,828	臨時職員賃金		5,334										
	学校運営協議会交付金		2,594	学校運営協議会委員報酬		1,560										
	学校運営協議会委員報酬		1,244	その他		2,806										
	その他		1,315													
	特定	1,532	一般	7,449	特定	1,940	一般	7,760	特定		一般					
人件費	正規職員	業務量	0.41	人	人件費	2,763	業務量	0.41	人	人件費	2,460	業務量		人	人件費	0
	嘱託員	業務量	0.94	人	人件費	2,781	業務量	0.94	人	人件費	2,820	業務量		人	人件費	0
合計	人件費合計(B)				5,544	人件費合計(B)				5,280	人件費合計(B)				0	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)				14,525	事業費合計(A)+(B)				14,980	事業費合計(A)+(B)					
評価指標1単位当たりコスト	評価指標(円/単位)				113,476	評価指標(円/単位)					評価指標(円/単位)					

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
地域と連携した事業の実施数	-	128	126	-		130			135

○事中評価

評価視点												今後の方向性															
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④	②	①	レ											
1	2	③	4	①	2	3	4	1	②	3	4																
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い																
総合評価判定				総合評価				C									コスト投入の方向性										
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小				現状維持				拡大			
前年度の課題等に対する取組状況		学校支援コーディネーターと部課長との懇談会を設定し、人員配置に係る意見交換を行った。 第1回キャリア教育委員会にて進捗状況を確認した。 檜川地区教育検討部会の委員と学校長と教育委員会担当で先進地視察を行い、義務教育学校の在り方について協議している。																									
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		学校支援コーディネーターの配置について、業務の円滑な遂行のため、特に大規模校については、人員を増員し一人当たりの受け持ち校数を減らす必要がある。また、会計年度任用職員制度の導入に対応する必要がある。 義務教育学校の設置に向けて、施設改修に係る実施設計業務を、令和2年度中に完了する必要がある。																									
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		学校支援コーディネーターの増員(1~2人増員)に伴う賃金の増額が必要である。 檜川小学校校舎改修等の実施設計委託料(ハード事業)が必要である。																									
第1次評価コメント																											
第2次評価コメント																											

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)															
取組内容	教育総務課に地域連携コーディネーターを、中学校区に1人ずつ学校支援コーディネーターを配置した。 キャリア教育支援協議会及びキャリア教育委員会を開催し、キャリア・パスポートの研究を行った。 檜川地区教育振興協議会教育検討部会に参加し、檜川地区の教育振興について検討を進めた。															
成果	放課後学習支援など、地域の教育力の活用が進んできた。また、各地域の特色に合わせた中核的な取組みが生まれてきた。 次年度から、キャリア・パスポートの運用を開始することが可能となった。 檜川地区の教育振興について一定の結論に達し、檜川地区教育振興協議会から、義務教育学校設置に係る要望書の提出を受けた。															
課題	学校支援コーディネーターの配置について、学校規模など校区ごとの実情に合わせて検討する必要がある。 キャリア・パスポートが適切に運用されるよう研究活動を継続する必要がある。 義務教育学校の設置に向けて、特色ある教育活動の内容や施設改修について検討を進める必要がある。															
作成担当者	こども教育部	教育総務課	教育企画係	職名	係長	氏名	横山 朝征	連絡先(内線)	3111							
最終評価者	教育総務課長			氏名	太田 文和	担当係長	教育企画係長			氏名	横山 朝征					

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>基礎固めを終え、その学校ならではの核活動が確認できるが、心配の要素もあり、ボランティアの高齢化に伴う活動への意欲減少、活動の硬直化など。総合的に検証を望みたい。</p> <p>C・Sの認知度はまだまだ低い。運動会や音楽会参観日等での情報発信があってもよいのではないか。</p> <p>今後の変化への対応と活動の継続のために、また一部の方に負担が偏らないように目を配っていただきたい。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>継続的な事業展開を図ることから「学校運営協議会」においては、充て職の住民でなく、主体的な住民の協力・活動によることが望ましいのではないかと。</p> <p>特に、区長任期が一年の地区においては考慮しても良いのではないかと。</p> <p>地域との連携において、地域で活動するに留まらず、地域のさまざまな組織、人とともにある教育をより充実させていただきたい。</p>
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の内容が魅力ある会議となるよう、地域連携コーディネータ、学校支援コーディネータの連携・協力により、見直し等を進める。 ・実践集の配布、市ホームページや広報紙への記事掲載、地域における発表会など、コミュニティ・スクール活動の周知に努め、学校支援ボランティアの確保につなげていく。 ・今後、地域の公民館と連携した活動について検討していく。
---------------	---

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	まなびサポート事業		担当課	家庭支援課		
目的	対象	特別な支援が必要な児童生徒及び教職員			体系	2-2-1
	意図	一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習環境の提供			新/継	継続
手段	通常の指導では十分な教育的効果が期待できない児童生徒に、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。				区分	ソフト
					会計	一般
年度別事業内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の充実 ○巡回訪問の実施 ○心理検査の実施 ○副学籍制度の導入		○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の充実 ○巡回訪問の実施 ○心理検査の実施 ○副学籍制度の実施		○支援介助員の配置及び充実(研修を含む) ○特別支援教育研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の充実 ○巡回訪問の実施 ○心理検査の実施 ○副学籍制度の実施	
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	24,141	予算額(A)	(千円)	24,804
	臨時職員賃金		23,515	臨時職員賃金		23,971
	その他		626	その他		833
	特定	102	一般	24,039	特定	108
				一般		24,696

人件費	正規職員	業務量	1.47	人	人件費	9,908	業務量		人	人件費	0	業務量		人	人件費	0
	嘱託員	業務量	0.98	人	人件費	2,899	業務量		人	人件費	0	業務量		人	人件費	0
	合計	人件費合計(B)			12,807	人件費合計(B)			0	人件費合計(B)			0	人件費合計(B)		
事業費合計	事業費合計(A)+(B)			36,948	事業費合計(A)+(B)			24,804	事業費合計(A)+(B)			24,804	事業費合計(A)+(B)			

評価指標1単当たりコスト	評価指標(円/単位)	9,236,910	評価指標(円/単位)		評価指標(円/単位)	
--------------	------------	-----------	------------	--	------------	--

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
教職員研修の実施回数	3	4	4	4		4			4
巡回相談実施回数	1	11	3	5		6			9

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性					
前年度の課題等に対する取組状況												学校での特別支援のキーパーソンとなる特別支援コーディネーターに対し、連絡会にて、支援会議の運営の仕方等について研修し、学校での対応力向上する機会を設けた。 特別支援教育指導主事の学校訪問では、学級担任や特別支援コーディネーターとの連携を図り、学級運営や支援方法へのアドバイスを実施した。					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												巡回相談について各専門家の専門領域を生かした、検討児童生徒の選定をするため、日ごろからニーズの把握、学校との連携が必要である。LD等の個別のニーズに合わせた学習支援へ対応の必要性が高まっているため、学校からの心理発達検査実施の依頼が増えており、迅速な対応ができない状況である。 学校訪問等により子どもの実態把握は進んでいるが、見通しを持った継続的な支援につなぐ必要がある。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												校外との連携の力を向上させるため、各専門家の専門領域に合わせ巡回訪問の必要性がある。 個別のニーズに合わせた学習支援が求められている中で、特別支援講師、支援介助員の配置だけでなく、継続した教職員への特別支援教育についての資質向上のための研修が必要である。					
第1次評価コメント																	
第2次評価コメント																	

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)									
取組内容	特別支援講師(嘱託員)を11人、支援介助員(臨時職員)を23人配置し、研修を実施した。 教職員研修は、特別支援教育研修会(年2回開催、教職員303人参加)、コーディネーター・教頭研修(年1回開催32人参加)を実施し、コーディネーターの資質を高めるため3回の連絡会の内1回を自主研修とした。 生徒指導や発達障がい専門家による巡回指導を計11回実施した。 副学籍による交流及び共同学習の調整等のため、研修や特別支援教育指導主事による助言、指導を行った。									
成果	特別に支援が必要な児童生徒の教育的ニーズに対応するため、専門家や他職種の連携により検討を重ね、具体的な支援に繋がった。 研修会や巡回相談等であった課題に対し、特別支援教育指導主事を中心にフォローを行い、継続した校内支援連携の強化が図られた。 副学籍による交流・共同学習が始まり、障がいの有無に関わらず共に学ぶ基礎的環境整備や、地域の子どもは地域で育てるという意識の醸成が図られた。									
課題	特別な支援が必要な児童生徒が年々増えており、特別支援講師や支援介助員を年次計画により増員してきたが、学校内での連携や継続した支援が滞ってしまうケースも見られた。特別支援教育指導主事を中心に引き続き学校での対応力向上への支援を行っていく必要がある。									
作成担当者	子ども教育部	家庭支援課	家庭支援係	職名	技術員	氏名	高橋 由奈	連絡先(内線)	3181	
最終評価者	家庭支援課長	氏名	植野 敦司	担当係長	家庭支援係長	氏名	藤森 あづさ			

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	学校なので、子どもの支援の充実が大切だが、子どもの背景には親がいて、親へのフォローも必要なので一緒に考えていくスタンスで巻き込んでいけたらと思う。
---------------------------	---

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	元気っ子応援事業との関連性をさらに精査し、特別支援教育について、課題を整理しつつ、より良い制度にすることが必要である。 巡回相談をより充実させてもいいのではないか。
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	平成30年度から元気っ子ネットワーク会議を立ち上げ、関係機関、専門家、関係課と課題の整理、学校支援の在り方等について検討を行っている。 そこでの検討結果を元気っ子フォローアップ訪問、特別支援教育担当指導主事の学校訪問、専門家の学校訪問等の充実につなげ、校内支援体制の強化を図ること、児童生徒への適切な支援を行っていく。
---------------	--

市民交流センター・生涯学習部 事務事業一覧

事業部ミッション1

・文化、芸術、スポーツ等の地域資源を生かして、市民や来訪者の生涯学習や交流を促す場を整備するとともに、イベント・講演会等の開催による交流・集客の機会を創出します。
 ・集客核となる歴史的町並みを世代を超えた財産として、価値を高めるよう適切かつ持続的に保存・活用します。

No.	主な取り組み	対応する事務事業(○自己点検評価対象事業)			
		No.	事業名	担当	評価
1	歴史的資源の保存と活用	①	重伝建整備事業	社会教育課	○
		②	国指定文化財修理事業	社会教育課	
2	市街地の活性化と交流の促進	①	北部交流センター管理諸経費	社会教育課	
3	文化資源を活用した交流活動の促進(短歌フォーラムの実施)	①	全国短歌フォーラム事業	社会教育課	
4	文化資源を活用した交流活動の促進(文化施設の運営・歴史遺産の活用)	①	檜川文化施設運営事業	社会教育課	
		②	短歌館運営事業	社会教育課	
		③	自然博物館運営事業	社会教育課	
		④	平出博物館運営事業	社会教育課	
		⑤	平出遺跡公園事業	社会教育課	
		⑥	ひらいでの里魅力づくり事業	社会教育課	
		⑦	埋蔵文化財事業	社会教育課	
		⑧	本洗馬歴史の里運営事業	社会教育課	
5	スポーツを通じた交流の促進	①	新体育館建設事業	新体育館建設プロジェクト	
6	スポーツを通じた交流の促進	①	競技力向上事業	スポーツ推進課	
		②	体育施設管理運営事業	スポーツ推進課	
		③	体育施設整備事業	スポーツ推進課	

事業部ミッション2

・自発的に活動する意欲を持った市民に対して、生涯を通じた学び合いの場や芸術文化に触れる機会を提供することで、市民個人の豊かな生活の創造と地域活動の活性化を促進します。

1	生きがいづくりと地域福祉活動の促進	①	生涯学習支援事業(ロマン大学事業補助金)	社会教育課	
2	生涯学習環境の整備	①	生涯学習支援事業	社会教育課	
		②	公民館事業	社会教育課	○
		③	図書館事業諸経費	図書館	
		④	総合文化センター管理事業(施設改修分)	社会教育課	
		⑤	公民館分館施設整備事業	社会教育課	
3	文化芸術活動の支援	①	芸術文化事業	社会教育課	
		②	文化会館運営事業	社会教育課	
		③	文化会館改修事業	社会教育課	

事業部ミッション3

・市民交流センター機能を中心に、知恵と意欲を持つ人材や団体の活発な活動・交流を促進するとともに、情報の集積拠点として、多様な人材が求める知識の習得を支援することにより、新たな知恵と価値が創出される場を提供します。

1	市民活動の支援と人の交流の促進	①	協働のまちづくり推進事業	交流支援課	
		②	市民交流センター交流企画事業	交流支援課	○
		③	市民交流センター管理諸経費	交流支援課	
2	確かな情報による課題解決の応援	①	図書館サービス基盤整備事業	図書館	
		②	図書館事業諸経費	図書館	
		③	古田晁記念館諸経費	図書館	
3	確かな情報による課題解決の応援	①	市民読書活動推進事業	図書館	
		②	本の寺子屋推進事業	図書館	○

事業部ミッション4

・子どもたちが、個性や能力を発揮し、自らの夢の実現に向けて意欲的に取り組む様々な体験学習を、地域とともに推進します。

1	体験型学習の推進	①	青少年育成事業	男女共同参画・若者サポート課	
		②	青少年育成施設運営事業	社会教育課	

事業部ミッション5

・男女がともに創る「子育てしたくなるまち」に向けて住みやすい環境を整えます。
 ・子育て世代や若者、学生に対して、誰でもがいきいきと暮らせる持続可能な地域社会の実現のため、悩みや課題の解決に向けた相談体制を整えます。

1	移住・定住希望者へのプロモーション(結婚支援)	①	男女共同参画事業	男女共同参画・若者サポート課	
		②	ふれあいプラザ運営事業	男女共同参画・若者サポート課	
2	若者の社会復帰への応援	①	若者サポート事業	男女共同参画・若者サポート課	
		②	社会人権教育推進事業	男女共同参画・若者サポート課	
		③	人権推進啓発事業	男女共同参画・若者サポート課	

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	重伝建整備事業				担当課	社会教育課									
目的	対象	重伝建地区内で建築物等の工事を行う者				体系	4-1-2								
	意図	歴史的な町並みの保存と整備を行う。				新/継	継続								
手段	設計監理及び工事費の補助				区分	ハード									
					会計	一般									
年度別事業内容	平成30年度				令和元年度				令和2年度						
	○奈良井 修理・修景 ○木曾平沢 修理・修景				○奈良井 修理・修景 ○木曾平沢 修理・修景				○奈良井 修理・修景 ○木曾平沢 修理・修景						
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	13,127	予算額(A)	(千円)	16,512	計画額(A)	(千円)	25,000						
	国重要文化財等保存整備事業補助金		12,906	国重要文化財等保存整備事業補助金		16,299									
	(設計監理費:2,452、工事費:10,454)			旅費		109									
	事務費		159	需用費		104									
	その他		62												
	特定	12,456	一般	671	特定	16,365	一般	147	特定	0	一般	0			
人件費	正規職員	業務量	0.59	人	人件費	3,977	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	0	
	嘱託員	業務量	0.32	人	人件費	947	業務量	人	人件費	0	業務量	人	人件費	0	
合計	人件費合計(B)				4,924	人件費合計(B)				0	人件費合計(B)				0
事業費合計	事業費合計(A)+(B)				18,051	事業費合計(A)+(B)				16,512	事業費合計(A)+(B)				25,000
評価指標1単当たりコスト	評価指標(円/単位)				4,512,750	評価指標(円/単位)					評価指標(円/単位)				

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
修理修景物件数	4	4	4	1		6			7

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	④			②	①		
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③		⑤			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥					
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小	現状維持	拡大	
												コスト投入の方向性							
前年度の課題等に対する取組状況												・修理・修景事業希望者の相談会や伝建地区内に所在する建造物の工事等の問合わせ、地元住民組織の会合などの際に伝建制度の説明を行い周知を図った。 ・地区内の空家に新たな住まい手が入り、補助事業で今年度修理する予定となった。伝建制度を理解していただき、同様な案件が増えるような取組を続けていきたい。							
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												・伝建制度発足から40年以上が経過し、取り巻く環境や情勢が変化している中で、それに伴って運用事務についての見直しも必要となってきた。また、事業主(修理修景事業実施建造物等所有者)に対しても、補助事業にかかる条件や書類整備・保管などについて徹底させる必要がある。 ・文化財保護法の改正により、伝建地区を含む多様な文化財を地域全体で保存・活用していくため、各自治体が「文化財保存活用地域計画(地域計画)」を策定できるよう法的に定められ、全国的にも策定に向けた動きが急激に進んでいる。塩尻市においても大切な文化財を将来にわたり保存活用していくべく、地域計画を策定する必要性が生じている。							
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												・奈良井・木曾平沢の貴重な歴史的町並みを将来にわたって維持し、観光資源としても活用できるよう、今後も継続的に修理・修景事業を実施し、住民の要望に応えるよう、事業の維持もしくは拡大を図ってきたい。 ・地域計画策定に当たっては、長い期間(R2~6年度)を要すると考えているが、業務量が膨大かつ多岐にわたるため、体制の確保が必要であり、人員の増加をお願いしたい。							
第1次評価コメント																			
第2次評価コメント																			

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)											
取組内容	・奈良井・木曾平沢の両地区において、修理・修景事業計4件を実施した。(奈良井:修理1件、修景1件、木曾平沢:修理1件、修景1件) ・両地区で町並み相談会を開催し、令和元年度及び令和2年度に向けての修理・修景事業実施希望の取りまとめを行い、令和元年度については文化庁に補助事業の申請を行った。											
成果	・事業の実施により建造物の保存が図られているとともに、歴史的町並みの景観が整い、観光振興にも寄与できた。 ・建造物所有者や地元住民の建物および町並みに対する保存意識が向上し、地域に対する誇り・愛着を持つことができた。 ・修理修景事業は国庫補助による事業で個人負担も相応にあるが、住民主体の保存活動として費用対効果は高いものになっている。											
課題	・歴史的町並みを将来にわたって維持していくには地元住民の理解が欠かせませんが、高齢化や世代交代、空き家への他地区からの転入等により制度への理解が薄れつつあるため、制度について継続的な周知を図っていくことが必要。											
作成担当者	市民交流センター・生涯学習部	社会教育課	文化財係	職名	技師	氏名	南澤 強	連絡先(内線)	3134			
最終評価者	社会教育課長			氏名	胡桃 慶三	担当係長	文化財係長		氏名	塩原 真樹		

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>魅力ある文化財に発展しており、塩尻市の宝として大事にしていきたい。住民の高齢化は避けられないが、中学生や小学生の伝統への意識や継続への意欲は確実に高まっていることは心強い。鳥居峠を真ん中にした、広域での企画を期待したい。</p> <p>維持していくためにも、制度についての周知が今まで以上に必要である。</p> <p>特色があり文化的価値の高い資産は、体験型の観光資源や学びの場として有用である。文化財を学校教育の題材にしてはどうか。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>官民協力の新たな事業（森林グランドサイクル事業）との連携も視野に入れつつ、文化財保存活用地域計画（地域計画）を考えることが必要である。</p> <p>住民の要望と観光客のニーズを調査等により明らかにできないか。</p>
---------------------------	--

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<p>奈良井で開始された「歴史的建物活用まちづくり事業」は、従来の「文化財の保存活用」とは相反する施策であるが、今後の伝建地区の存続を左右する事業であり、広く深く議論し実行することが重要であると考えている。「文化財保存」を堅持しながら、「文化財の活用」という視点でも注力していきたい。</p> <p>令和2年度より「文化財保存活用計画」の策定に着手する。他市の状況を聞くところ、「0」から始める場合は最低でも5年位かかるようであるが、先進地より計画の策定までの流れなどの情報提供を受けながら早期に実現できるよう努めていく。</p> <p>住民要望は地元保存会、観光客のニーズは市観光協会と連携し情報共有を図っていく。</p> <p>市に存在する「文化財」を題材に様々な視点や手法で、後世に伝える企画等検討実施していきたい。</p>
---------------	---

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公民館事業	担当課	社会教育課													
目的	対象:	市民全体	体系	7-2-1												
	意図:	市民の自主的な生涯学習を促進するとともに、地域コミュニティの醸成を推進する。	新/継	継続												
手段:	中央公民館の運営と地区公民館における各種教室、講座、講演会等の運営の支援		区分	ソフト												
			会計	一般												
年度別事業内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度											
	○学級・講座の開催 ○地区公民館事業の実施 ○地区館長・公民館分館主事等報酬		○学級・講座の開催 ○地区公民館事業の実施 ○地区館長・公民館分館主事等報酬		○学級・講座の開催 ○地区公民館事業の実施 ○地区館長・公民館分館主事等報酬											
事業費・財源	決算額(A)	(千円) 38,574	予算額(A)	(千円) 39,801	計画額(A)	(千円) 予算対応										
	地区館長・分館長・分館主事報酬	18,700	地区館長・分館長・分館主事報酬	18,782												
	公民館事業委託料	15,172	公民館事業委託料	15,173												
	その他事務諸経費	4,702	その他事務諸経費	5,846												
	特定	1,575	一般	36,999	特定	830	一般	38,971	特定		一般					
人件費	正規職員	業務量	0.57	人	人件費	3,842	業務量		人	人件費	0	業務量		人	人件費	0
	嘱託員	業務量	0.81	人	人件費	2,396	業務量		人	人件費	0	業務量		人	人件費	0
	合計	人件費合計(B)		6,238	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0						
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		44,812	事業費合計(A)+(B)		39,801	事業費合計(A)+(B)									
評価指標1単当たりコスト	評価指標(円/単位)		1,600	評価指標(円/単位)			評価指標(円/単位)									

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
中央・地区公民館講座等事業参加者数	10,414	28,013	15,000	9,881		20,000			20,000

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	方向性			
1	2	3	④	1	2	③	4	1	②	3	4		④	②	①	①
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		現状維持	③	⑤	
総合評価判定				総合評価				B				縮小	⑥			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												休廃止	⑦			
前年度の課題等に対する取組状況				・新しい時代に即した公民館として住民にとっても気軽に来館できる公民館になるよう取組みや地域課題に即した学習会を行った。 ・地域のことを「他人事」ではなく、「自分事」として捉える住民を増やすため、まずは公民館研究集会において、公民館分館役員の意識向上のための研修を行った。終了後のアンケートでは「自分事として考えるきっかけになった」「楽しんで公民館活動を取り組みたい」などの多くの意見をいただいた。								皆減	縮小	現状維持	拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				・地域住民の「地域」に対する考え方捉え方、そして「地域づくり」「人づくり」を各地区公民館で行っているが、地域が変わるには10年20年の時間がかかる。そのため継続的に公民館活動を行っていく必要性がある。 ・公民館活動について知らない住民がまだ多くいるため、公民館活動の周知、そして活動による効果の可視化を検討したい。								コスト投入の方向性				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				公民館事業の予算は、地区公民館事業委託料と学級講座の講師謝礼が主なものになるが、事業の精査を継続し削除できるものは削除していく。新年度予算に関しては、現状維持としたいが、社会教育・公民館は今後の社会にとって非常に大切なものとなっていく。限られた予算で最大の効果が発揮できるように人員配置を要求したい。												
第1次評価コメント																
第2次評価コメント																

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)							
取組内容	・定期的に公民館長・主事会議を開催し、地区における公民館事業の取組について情報交換及び意見交換を行った。 ・公民館研究集会を初めて区長会と合同で開催し、地域づくりについて学ぶ場とした。また令和元年年市制60周年に向けて、図書館と公民館が連携をして、昔の塩尻の写真収集を行った。事業・講座数は、中央公民館では、13講座を実施し延べ2,076人、地区公民館では、237事業・講座を実施し、延べ25,937人が参加・受講した。							
成果	・事業を通じて、市民の教養の向上、健康の増進等を図り、地域の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与できた。地域課題の把握や地域の魅力再発見を行う事業をいくつか開催し、それぞれの方法で地域づくりを行った。 ・塩尻の古い写真と併せて、10地区公民館と1分館でアルバム持ち寄りお茶会を実施し、公民館が本来持つ役割のひとつである「村の茶の間」としての機能を果たし、地域の歴史を見直し、つながりづくりを行う場となった。							
課題	・新しい時代にふさわしい公民館の在り方として、従来から行っている趣味や教養に関する学級・講座だけでなく、生活課題や地域課題に即した学習活動に更に取り組んでいくことが求められている。 ・地域住民一人ひとりが地域のことを自分事として捉える意識向上のための仕掛けづくり、また地縁コミュニティ活性化のため、公民館主事が地域の先頭に立って、地域づくりの担い手育成に関わっていくことが必要となっている。							
作成担当者	市民交流センター・生涯学習部	中央公民館	職名	主任	氏名	安藤 寿秀	連絡先(内線)	3141
最終評価者	社会教育課長	氏名	胡桃 慶三	担当係長		氏名		

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>講座受講整数から、住民の学習意欲が高いことがわかる。講座にかかわる方々の努力の結果であるが、これらを担う地域リーダーの育成や発掘が喫緊かつ永遠の課題となる。</p> <p>予算上の制約があるとのことなので、予算の増額を望みたい。</p> <p>地域全体で子供を育てるには、公民館はなくてはならない存在だが、子どもも忙しいので、すきまの時間で参加できる行事があればありがたい。</p> <p>災害対策機能の充実が必要である。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>公民館アンケート調査結果を今後どのように事業に反映していくのか。</p> <p>市内の優良公民館のノウハウを各地区の特性を考慮した上で他の公民館に広める。</p> <p>意見が活動に結びつく方策を考える。</p> <p>地道な継続努力も必要であるが、柔軟な思考も併せ持つことも必要である。</p> <p>子どもや現役世代といった若い世代の事業への参加促進を図っていただきたい。</p>
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<p>地域コミュニティ推進の中核である公民館は、何を置いても「人」が要と考える。やる気のある公民館主事や公民館長等がタッグを組む事で、地域もそれに引っ張られ、コミュニティの醸成に拍車がかかると考える。</p> <p>今年度、表彰を受けた2地区の公民館は地域にある組織の壁を取り払い、連携して行う事業が実を結んでいる。他地域でもそれをお手本に、柔軟な活動の推進ができるよう努めていきたい。</p>
---------------	---

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名		市民交流センター交流企画事業				担当課	交流支援課					
目的	対象:	市民全体、事業者、各種団体、市外からの来館者						体系	10-2-1			
	意図:	新しい人々や多くの人々が絶えず集い行き交う場を創出し、知恵の交流を通じた人づくりを図る。						新/継	継続			
手段:	市民交流センター貸館など、人の集まる場を提供し、5つの重点分野と各分野の機能融合を目指した企画事業を開催する。						区分	ソフト				
							会計	一般				
年度別事業内容	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センター運営方法の協議 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施				○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センター運営方法の協議 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施				○市民交流センターの貸館受付と証明発行業務の実施と利用満足度の向上 ○センター運営方法の協議 ○5つの重点分野を生かした融合事業等の実施 ○施設の機能を活かした事業の実施 ○市民営提案事業から定着した交流企画イベントの継続実施			
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	14,754	予算額(A)	(千円)	15,675	計画額(A)	(千円)	予算対応			
	臨時職員賃金等		8,429	臨時職員賃金等		9,050						
	IT講座運営事業等委託料		2,495	IT講座運営事業等委託料		2,000						
	市民営提案事業委託料		1,272	市民営提案事業委託料		1,418						
	交流イベント開催委託料		586	交流イベント開催委託料		600						
	その他		1,972	その他		2,607						
	特定	1,217	一般	13,537	特定	422	一般	15,253	特定	一般		
人件費	正規職員	業務量	1.61	人	人件費	10,851	業務量		人	人件費	0	
	嘱託員	業務量	1.13	人	人件費	3,343	業務量		人	人件費	0	
	合計	人件費合計(B)				14,194	人件費合計(B)				0	
事業費合計	事業費合計(A)+(B)				28,948	事業費合計(A)+(B)				15,675	事業費合計(A)+(B)	
評価指標1単当たりコスト	評価指標(円/単位)				379	評価指標(円/単位)					評価指標(円/単位)	

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
貸館利用者数(人)(8月末、3月末現在)	30,798	76,398	70,000	28,046		70,000			70,000
講座・イベント等参加満足度(%) (8月末、3月末現在)	98	96.6	70	97.6		70			70

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性			有効性				効率性					成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3	4		現状維持		③		⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦				
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				B									皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性	
前年度の課題等に対する取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年イベントなどの各種イベントについては、興味・関心の高い内容にするなど、市民のニーズを把握しながら実施した。 ・広報については、積極的に新聞社へのプレスリリースを行い、より多くの人々の目に留まるように告知を行った。 ・施設利用方法については、窓口担当者及び課内職員会議にて対応方法を統一し、必要に応じて課内マニュアルの変更を行った。 																
当年度開始後、約6ヶ月が経過した新たに生じた問題等		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの内容、日程などにより参加者数にばらつきがみられるため、更なるリサーチが必要。 ・施設の汚損・破損に繋がってしまうような利用方法をしている事例が散見される。注意や掲示を行うなどの対応が必要。 																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		<ul style="list-style-type: none"> ・イベントによって参加者数に差がみられるため、更なる内容の工夫、検討を行い実施する。市民営提案事業から生まれた「こどもおじり」については、独自性が高い評価を得ているため、引き続き委託事業として実施する。 ・開館10周年にあたるため、広く市民が参加できる記念事業を実施したい。 ・会計年度任用職員制度の導入に伴い、市民サービスの要である窓口業務に支障を来さないよう、現在雇用している臨時職員を、月給制のパートタイム会計年度任用職員に位置付けたい。 																
第1次評価コメント																		
第2次評価コメント																		

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月～3月)									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・交流企画事業については、前年から開催している講座や、新たに取り入れたSNSの講座など、参加者の満足度が高いものや、開催の要望が多かった講座を開催。 ・施設の利用に関しては、館内の使用ルールを知らず、ガラス面・壁面に粘着性のテープを使用したり、防音設備になっていない会議室内で音楽を流したりする等の問題が見受けられたため、使用上のルールを大きく印刷して窓口にて掲示するなど、徹底を図った。 									
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各イベント開催後には、参加者同士での連絡先の交換などが行われ、地域住民の交流の活性化に繋がった。 ・施設の使用上の注意事項を窓口にて掲示したことにより、施設利用者に館内のルールが浸透してきており、設備の汚損・破損が減少し、他の施設利用者への迷惑となるような施設利用の事例も少なくなった。 									
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年交流イベントは参加者がなかなか集まらず、参加定員を下回る場合があるため、中学・高校生へのイベント告知方法に工夫が必要。 ・施設利用の方法も多様化してきており、会議室内でのアロマ等の香料の使用や、調理以外の目的での調理器具の使用など、問題の発生が予想される事例が増えてきたため、事例ごとに課内で検討し、ルール化することが必要。 									
作成担当者	市民交流センター 生涯学習部	交流支援課	企画運営係	職名	主事	氏名	山端 慧斗	連絡先(内線)	4210	
最終評価者	交流支援課長		氏名	山崎 浩明	担当係長	市民活動支援係長		氏名	酒井 千鶴子	

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>意外性のあるテーマのもと、市民の関心を高める仕掛けは面白い。正に、学校とはちょっと違う学びである。ここで育つ子供たちの未来に期待感が高まる。</p> <p>利用マナーの悪さを聞くことも多いので、そういった事実の公表も必要ではないか。</p> <p>「こどもしおじり」について、大人にはない大きな可能性を感じる。</p> <p>青少年事業の充実のため、若者からの要望を汲んでいただきたい。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>開館 10 周年になることから、市民交流センターの目的である知恵の交流を通じた人づくりが出来ているのか事業検証をすることが必要である。</p> <p>イベントは、一過性のものでなく、継続するものでなくてはならない。</p> <p>評価指標における参加満足度の目標値をもう少し高く設定してもいいのでは。</p> <p>イベント後、参加者の次の交流につながるようなフォローアップを考えていただきたい。</p>
---------------------------	---

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<p>令和 2 年度は開館 10 周年の節目であるため、交流企画事業や協働のまちづくり推進事業など、えんぱ一くでこれまでに実施してきた様々な事業を総括・検証し、市民営も含めたこれからの運営の指針を示していきたい。</p> <p>交流企画事業は、アンケート調査や facebook、市民交流センター運営協議会等で意見を募り、多様なニーズを把握したうえで、五つの重点分野を意識した事業の企画、運営を継続していく。少人数を対象とした「tent」や「ちびてつ」などのほか、大規模な「こどもしおじり」のような事業も織り交ぜ、市民の知恵を反映しながら、様々なターゲットに訴求する事業展開を目指す。</p> <p>貸館業務も含め、人づくりのための場所と機会の提供に努める。講座やイベントの是非は、参加人数の多寡で判断することなく、参加者の満足度や周囲への波及効果等を考慮したうえで企画の評価、検証を行う。</p>
---------------	---

令和元年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	本の寺子屋推進事業		担当課	図書館							
目的	対象	市民全体		体系	10-2-2						
	意図	本に関わる人や企業をつなぎ、生涯読書を進める。		新/継	継続						
手段	「本の寺子屋」を中心とした講演会やワークショップ、企画展の実施			区分	ソフト						
				会計	一般						
年度別事業内容	平成30年度		令和元年度		令和2年度						
	○本の寺子屋講演会開催 ○子ども本の寺子屋開催 ○地域文化サロン開催 ○古田晁記念館文学サロン開催		○本の寺子屋講演会開催 ○子ども本の寺子屋開催 ○地域文化サロン開催 ○古田晁記念館文学サロン開催		○本の寺子屋講演会開催 ○子ども本の寺子屋開催 ○地域文化サロン開催 ○古田晁記念館文学サロン開催						
事業費・財源	決算額(A)	(千円)	2,280	予算額(A)	(千円)	2,524	計画額(A)	(千円)	予算対応		
	講師謝礼		1,009	講師謝礼		1,027					
	費用弁償		379	費用弁償		473					
	印刷製本費		416	印刷製本費		416					
	企画展示品借上料		296	企画展示品借上料		253					
	その他		180	その他		355					
	特定	0	一般	2,280	特定	1	一般	2,523	特定	一般	
人件費	正規職員	業務量	1.18	人	人件費	7,953	業務量		人	人件費	0
	嘱託員	業務量	2.17	人	人件費	6,419	業務量		人	人件費	0
合計	人件費合計(B)		14,372	人件費合計(B)		0	人件費合計(B)		0		
事業費合計	事業費合計(A)+(B)		16,652	事業費合計(A)+(B)		2,524	事業費合計(A)+(B)				
評価指標1単当たりコスト	評価指標(円/単位)		1,040,750	評価指標(円/単位)			評価指標(円/単位)				

○評価指標

評価指標	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
講座開催数(回)	11	16	12	8		12			12
参加満足度(%)	85	87	80	91		80			80

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性			有効性			効率性						成果の方向性	④	②	①		
1	2	3	④	1	2	③	4	1	2	3	④						
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い						
総合評価判定						総合評価						⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討						A						皆減	縮小	現状維持	拡大		
前年度の課題等に対する取組状況						<ul style="list-style-type: none"> 絵本作家やジャーナリストなどの講師の講演会では、働く世代の参加者が多く見られている。 来年度の企画にあたっては、働く世代も足を運びたいような講演会をメニューに加えられよう内容を検討し、講師選定を進めている。 											
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等						<ul style="list-style-type: none"> 講演会に合わせて地元書店の協力を得て本の販売を行っているが、講演会前後で本の販売を行うため販売員の拘束時間が長くなり、負担が大きい。書店の負担を軽減しながら事業継続できるよう、寺子屋ボランティア募集による運営補助を検討している。 											
新年度の予算要求事項(改革・改善案)						<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、えんばーく開館10周年企画を一部盛り込んで計画する。 令和3年度は信州しおじり本の寺子屋10周年の節目の年になるため、10周年記念企画として充実した講師選定、書籍出版などを計画する。 											
第1次評価コメント																	
第2次評価コメント																	

【参考】平成30年度 事後評価結果

区分	年間(4月~3月)															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 本の寺子屋(地域文化サロン・古田晁記念館文学サロンを含む)、子ども本の寺子屋を計画どおり実施した。 企画展への関心を高めるために、出展者の協力を得てギャラリートークを3回開催した。 															
成果	<ul style="list-style-type: none"> 講演会および講座を1,153名の参加者のもと、合計16回開催した。 受講者アンケートの分析により、87%の参加者が講演内容に満足しているという結果が得られた。 信州しおじり本の寺子屋の取り組みが対外的な評価を得た結果として、令和元年9月に文部省が開催する新任図書館長研修で、取り組み内容の事例報告を行うことが決定した。 															
課題	<ul style="list-style-type: none"> 信州しおじり本の寺子屋は、中高年の参加者が多くを占めている。 幅広い年齢層から参加者が集まるよう講座を企画・開催することが、市民全体への生涯読書推進を図ることにつながると考える。 															
作成担当者	市民交流センター・生涯学習部	図書館	職名	主事	氏名	藤牧晃平	連絡先(内線)	4243								
最終評価者	図書館長	氏名	上條 史生	担当係長	図書館係長	氏名	宇治橋 多恵									

○教育委員会の評価等【Check】

教育委員会の 評価・意見・ 改善提案等	<p>さまざまな分野の講師を招聘し、講師料を低く抑えながら、魅力のある講座が開催されている。えんてらすと共存し、えんてらすでは、地域色を持たせる内容を企画した。今後も、特色あるものの試みを望みたい。</p> <p>中高年向けの講座は充実しているが、若者向けのものは今後の課題となるか。</p>
---------------------------	--

○教育振興審議会委員（学識経験者）の外部評価等【Check】

学識経験者の 評価・意見・ 改善提案等	<p>地元書店との協力は不可欠であるが、書店にも時間的拘束はあるものの、居ながらにして営業ができる利点があることから、双方がウインウインの関係になることが望ましい。</p> <p>例えば、市内書店で書籍を購入すると「本の寺子屋」の講演会の優先券が得られるなど。</p> <p>全国的にも評価の高い事業であることから、市民全体への生涯読書推進を図るためにも事業の意義を市民・業者・行政が十分把握・理解した上で一丸となり、継続できるようお互いが協力し合うことが必要である。</p> <p>生涯読書という事業の目的もふまえた事業評価を行っていただきたい。</p>
---------------------------	--

○教育委員会事務局（改善計画等）【Action】

取り組む 改善内容等	<p>引き続き出版界への積極的な働きかけをするなどして多彩な講師の招致につとめるとともに、地域文化サロンの継続、えんてらすでの開催など、多くの市民に参加してもらえるような企画を展開する。</p> <p>市内書店とは定期的に情報交換・意見交換の場を設けている。書店からの提案を事業に反映させ、双方にメリットのある事業実施により、市民の読書環境の整備に努めていく。</p> <p>令和2年度の「えんぱ一く10周年」、翌年度の「本の寺子屋10周年」にあたり、より多くの市民に事業を周知できるよう記念企画を実施する。</p> <p>市民全体の生涯読書の推進につながるよう、子どもからシニアまでの各世代に本の魅力をアピールしていく必要がある。特に若い世代に興味を持ってもらえるようなテーマ設定に努める。</p> <p>出版文化の未来に寄与するという事業の趣旨に近づけるよう、本の寺子屋の理念と成果について全国に向けて積極的な発信を行い、地方発の文化の創造に取り組む。</p>
---------------	--

塩尻市教育振興基本計画成果指標

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	H28	H29	H30	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期	
【知】 確かな知識とそ れを活用する知 恵の育成	1 知識となる基礎学 力の定着や技能 の習得	授業以外(月～金)の1日当たりの学習時間が小学 生1時間以上、中学生2時間以上の児童・生徒の割 合 (小6…1時間以上、中3…2時間以上)	小6	64.0%	H26	64.5%	70.4%	65.2%	県 64.4% 国 66.2%	↑	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	62.1%	全国学力・学習状況 調査	1年	
			中3	29.1%	H26	27.1%	32.8%	国 32.7% 国 36.4%	↑	国・県より低割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	35.2%				
			小6	85.4%	H26	85.2%	83.8%	—	↑	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	80.1%				
			中3	77.2%	H26	72.6%	82.3%	—	↑	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	72.0%				
			小6	86.4%	H26	87.8%	84.3%	84.7%	↑	国・県より高割合を維持しつつ、更に前年 度よりも高割合を目標とする。	79.6%				
			中3	70.4%	H26	68.0%	70.3%	73.8%	↑	前年度よりも高割合を目標とし、国・県の割 合よりも高割合を目標とする。	71.5%				
			小6	60.6%	H26	63.2%	71.7%	—	↑	前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	63.8%				
			中3	46.0%	H26	48.0%	61.5%	—	↑	前年度よりも高割合を目標とし、国・県よりも 高割合を目標とする。	54.8%				
			小6	88.2%	H26	86.6%	87.8%	88.0%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	86.7%				
			中3	75.0%	H26	69.3%	71.4%	72.4%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	71.4%				
【徳】 豊かで思いやり のある心の育成	1 一人ひとりの豊か な心の育成	将来の夢・目標を持っている児童・生徒の割合	小6	88.2%	H26	86.6%	87.8%	88.0%	県 85.1% 国 85.1%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	86.7%	全国学力・学習状況 調査	1年	
			中3	75.0%	H26	69.3%	71.4%	72.4%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	71.4%				
			小6	95.0%	H26	95.3%	93.6%	95.6%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.0%				
			中3	95.0%	H26	93.3%	93.7%	96.0%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	94.0%				
			小6	91.6%	H26	91.0%	90.1%	86.8%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	89.9%				
			中3	68.1%	H26	70.4%	74.9%	68.0%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	63.7%				
			小6	94.2%	H26	93.6%	94.9%	91.4%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	90.5%				
			中3	93.2%	H26	97.4%	95.6%	95.7%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	93.0%				
			小6	94.4%	H26	94.1%	92.5%	89.9%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	92.9%				
			中3	95.0%	H26	92.8%	94.5%	91.8%	↑	現状の高割合を維持しつつ、国・県の割合 よりも高割合を目標とする。	93.2%				
2 社会や地域に親し む心の育成	1 規則正しい生活習 慣の定着	規則正しい生活状況(同じ時刻に起きる児童・ 生徒の割合)	小6	86.5%	H26	86.3%	84.5%	78.7%	県 80.0% 国 77.0%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	82.4%	全国学力・学習状況 調査	1年	
			中3	79.6%	H26	74.5%	80.0%	75.6%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	74.8%				
			小6	44.5%	H26	36.9%	38.5%	46.5%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	38.2%				
			中3	38.7%	H26	31.5%	40.9%	37.6%	↑	国・県の割合よりも高割合を目標とする。	31.4%				
			小学校 中学校	77.8冊 19.2冊	H25 H25	77.4冊 22.0冊	77.9冊 25.4冊	81.1冊 19.2冊	前年 前年	前年度よりも多い冊数を目標とする。	—	市教委調査			—
			小6	98.3%	H26	97.5%	97.0%	99.3%	99.1%	↑	現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	96.0%			
			中3	95.1%	H26	95.7%	96.0%	92.6%	93.5%	↑	現状の高割合を維持しつつ、前年度よりも 高割合を目標とする。	93.5%			
			小学生 中学生	55.7% 46.1%	H26 H26	53.4% 43.3%	55.0% 48.1%	—	前年 前年	前年度よりも高割合を目標とする。	—	市教委調査			—
			小5男	55.42点	H25	53.20点	56.35点	55.70点	54.64点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	53.87点			
			小5女	54.40点	H25	53.89点	57.49点	57.47点	55.99点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.70点			
中2男	44.99点	H25	43.82点	43.57点	43.02点	43.14点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.78点						
中2女	47.73点	H25	51.57点	50.16点	53.21点	50.31点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	48.42点						
小5男	72.0%	H25	74.0%	70.5%	75.1%	74.6%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	69.9%						
小5女	49.4%	H25	47.8%	55.0%	58.5%	56.5%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	50.3%						
中2男	60.4%	H25	61.1%	64.0%	61.4%	65.8%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	58.7%						
中2女	37.9%	H25	44.6%	41.5%	51.4%	46.7%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.1%						
【体】 健やかな体の育 成と規則正しい 生活習慣の定 着	2 正しい食習慣の定 着	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合 大人と朝食をとる児童の割合 ※H30は調査項目なし	小5男	55.42点	H25	53.20点	56.35点	55.70点	54.64点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	53.87点	全国学力・運動能 力、運動習慣調査	1年	
小5女			54.40点	H25	53.89点	57.49点	57.47点	55.99点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	54.70点				
中2男			44.99点	H25	43.82点	43.57点	43.02点	43.14点	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.78点				
3 運動に親しみ、健 康な体をつくる習 慣の定着	3 運動が好きと思っ ている児童・生徒の割合	体力の合計点	小5男	72.0%	H25	74.0%	70.5%	75.1%	74.6%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	69.9%	全国平均	1年	
			小5女	49.4%	H25	47.8%	55.0%	58.5%	56.5%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	50.3%			
			中2男	60.4%	H25	61.1%	64.0%	61.4%	65.8%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	58.7%			
中2女	37.9%	H25	44.6%	41.5%	51.4%	46.7%	↑	国・県の割合よりも高得点を目標とする。	41.1%						

社会を生き抜く力の養成

基本目標	施策	指標名	対象者	計画前	時点 (年度)	H28	H29	H30	比較	目指す 方向	目標値	標準値(計画時)	情報源	周期
4 きめ細かな支援 による教育の平 等な提供	1 一人ひとりに対す るきめ細かな指導 の推進	学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合 ※H30は調査項目なし	小6	87.1%	H26	88.8%	88.1%	—	—	↗	前年度よりも高割合を 目指し、国・県の割 合よりも高割合を 目指す。	86.6%	全国学力・学習状況 調査	1年
		自分には良いところがあると思う児童・生徒の 割合	中3 小6	80.1% 80.5%	H26 H26	82.3% 80.7%	81.1% 80.1%	— 97.4%	— 県 96.4% 国 95.6%	↗ ↗	前年度よりも高割合を 目指し、国・県の割 合よりも高割合を 目指す。	82.4% 76.1%		
	2 支援が必要な子ども に対する教育の充 実	市内在住の年中児のうち元気づき相談を受け た子どもの割合	年中児	88.7%	H25	97.9%	97.0%	96.8%	前年	→	現状の高割合を維持する。	—	市教委調査	1年
	3 支援が必要な家庭 への対応の充 実	学校生活が充実していると感じる中学生の割合	中1	63.0%	H26	64.0%	71.0%	55.0%	前年	↗	前年度よりも高割合を 目標とする。	41%	市教委 (Q-Uアンケート)	1年
5 学校・家庭・地 域が一体となっ た教育体制の整 備	1 学校の運営体制制 の向上と機能強化	職員研修の実績(参加者の延べ件数)	学校教職員	—	—	8講座 377人	8講座 383人	8講座 561人	前年	↗	前年度を下回らないことを 目標とする。	—	市教委調査	1年
		幼保小中連携の交流回数	幼稚園、保育園、小学校	—	—	こども141回 教職員53回	こども128回 教職員49回	こども132回 教職員50回	前年	→	現状を維持することを 目標とする。	—	市教委調査	
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	2 地域の教育力の 活用	地域と連携した事業の実施数	学校	—	—	—	126	128	前年	↗	135	—	市教委調査	1年
		教育活動における地域人材活用の事業数 (学校支援ボランティアの登録者数)	学校	—	—	940人	1,156人	1,283人	前年	↗	前年度よりも増加する ことを目標とする。	—	市教委調査	
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	1 学校教育施設の 整備	大規模改修件数	学校	4校	H25	5校	6校	6校	—	↘	計画の目標件数の達成	—	市教委調査	1年
		耐震化改修施設数	学校	3校	H25	15校 (非構造部材)	15校 (非構造部材)	15校 (非構造部材)	15校 (非構造部材)	—	↘	計画の目標件数の達成	—	市教委調査
		学校図書整備率(標準を下回る学校)	学校図書館	小1校 中4校	H25	小1校 中4校	小1校 中2校	小2校 中2校	前年	↘	学校図書館図書標準に定められ た割合をすべての学校が上回る	—	市教委調査	
6 充実した教育を 受けられる環境 の整備	2 学校外の教育環 境の整備	安心して子どもを預けられる環境があると感じ る人の比率	全市民	37.3%	H26	39.4%	36.8%	43.1%	前年	↗	前年度よりも増加する ことを目標とする。	—	市民意識調査	1年
		公民館事業の子ども参加者数	児童・生徒	—	—	49講座 3,112人	66講座 3,251人	63講座 3,527人	前年	↗	前年度よりも増加する ことを目標とする。	—	市教委調査	1年
		通学路の安全点検と対策実施箇所(事業数と 改善数)	点検箇所	点検箇所 52 対策実施 26	H25	点検箇所 36 対策実施 25	点検箇所 35 対策実施 22	点検箇所 33 対策実施 21	前年	↘	積み残し件数の減少	0件	市教委調査	1年

きめ細かで特色ある教育環境の整備

元気っ子育成支援プランⅡ 評価指標 調査票

○子育て体験講座へのパパの参加数(延べ人数)

担当課:健康づくり課 計画:31頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
91	73	67	96	101	100	98	120	75	110	人

○安心して子どもを預けられる環境があると感じる市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:33頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
37.8	42.5	41.3	39.3	39.4	36.9	39.4	36.8	43.1	43	%

○子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされていると感じる市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:39頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
33.5	40.4	36.8	34.7	34.9	34.0	35.4	30.9	36.9	38	%

○市内在住の年中児のうち元気っ子応援事業を受けた子どもの割合

担当課:家庭支援課 計画:41頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
87.4	90.5	87.5	88.7	92.9	96.6	97.9	97.0	94.5	99	%

○社員の子育て応援宣言市内登録企業数

担当課:産業政策課 計画:45頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	20	28	43	44	52	60	社

○仕事と生活とのバランスに満足している市民の割合

担当課:市民意識調査 計画:45頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	45.2	32.7	35.1	33.9	39.7	56.3	%

○市内のながの子育て家庭優待パスポート事業参加事業者数

担当課:こども課 計画:48頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
102	104	108	114	116	128	135	128	129	150	社

○**離乳食教室参加者数**

担当課:健康づくり課 計画:49頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
177	181	179	190	193	191	197	159	161	190	人

○**家族と一緒に食事をとる人の割合(幼児)**

担当課:健康づくり課 計画:49頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	73	83	77.0	80.0	68.0	90.0	%

※算定方法の見直しによる減

○**20歳～49歳の社会増加数**

担当課:企画課 計画:54頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
55	△ 18	98	△ 33	△ 18	163	129	80	168	0	人

○**各種定期予防接種の接種済率の平均値**

担当課:健康づくり課 計画:57頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	89	85	89	91.0	91.4	92.4	90.0	%

○**備蓄倉庫への紙おむつの備蓄数**

担当課:消防防災課 計画:60頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	—	0	3,200	3,200	4,730	4,640	枚

○**塩尻は「子育てしやすいまち」であると思う市民の割合**

担当課:市民意識調査 計画:84頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
—	—	—	—	51.2	58.1	55.4	56.1	55.5	59.8	%

○**合計特殊出生率(塩尻市)**

担当課:健康づくり課 計画:84頁

目標値

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	単位
1.42	1.41	1.48	1.65	1.57	1.53	1.70	1.62	—	1.58	人

※県の指針待ち

塩尻市生涯学習推進プランⅢ 指標一覧

基本目標	施策の柱	基本施策	指標	現状値/年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標	出所・担当課	備考	備考				
1 みんなに開かれた学習の「場」の整備と活用	生涯学習関連施設の充実	1 生涯学習関連施設の充実	総合文化センター利用者数	91,783人	94,154人	94,658人	76,389	81,632人	公共施設予約システムの数値	社会教育課	公共施設予約システムの数値					
		2 市民交流センターの効果的活用の推進	5つの重点分野をテーマとした事業の開催数	287	29	30		103	287	生涯学習推進数	生涯学習課	生涯学習推進数				
		3 地区公民館等の効果的活用の推進	5つの重点分野をテーマとした事業の参加者数	13,607	14,419	16,179		12,780	13,607	上記事業の参加者数	中央公民館 中央公民館	上記事業の参加者数				
		4 ふれあいプラザの効果的活用の推進	地区公民館・分館における各種講座等の開催数	971	599	773	849	666回			中央公民館	事業開催数				
		5 文化財の保存・整備	地区公民館・分館における各種講座等の参加者数	17,543人	17,071人	16,798	16,740	17,010人			中央公民館	上記事業の参加者数				
		2 新しい仲間をつくる団体・サークルの育成	生涯学習関連施設の充実	6 芸術文化の施設活用	ふれあいプラザにおける各種講座等の開催数・参加者数	14回・200人	4回・101人	8回・113人	18回・137人	25回・428人		男女共同参画・若者サポーター課	事業開催数			
				7 自然体験宿泊施設の維持と効果的活用	講座受講者の満足度	-	89.8%	90.1%	91.2点	91.6%	前回調査の数値と同等以上	男女共同参画・若者サポーター課	上記事業の参加者数			
				8 その他の施設の維持と効果的活用	未指定等文化財の実態把握実施件数	0	2	2	1	0	0	前回調査の数値と同等以上	社会教育課	未指定物件の把握数		
				3 新しい仲間をつくる団体・サークルの育成	生涯学習関連施設の充実	1 学校施設の開放による地域に関わった学習空間の確保	芸術文化施設の利用者数	1,956,162人	1,066,697人	1,016,777人	1,136,666人	1,152,144人		社会教育課ほか	レザンホール利用者数	
						2 新たな学習空間の確保	短歌館	4,568人	4,479人	4,228人	4,017人	4,563人		社会教育課	施設利用者数	
						1 乳幼児期 生活習慣の確立	自然博物館	7,766人	8,417人	6,530人	7,365人	8,556人	6,500人	社会教育課	施設利用者数	
						2 ライフステージに応じた自主的な取り組みの支援	中村邸	16,082人	12,221人	10,977人	10,820人	10,243人		社会教育課	施設利用者数	
				4 学習相談体制の充実	生涯学習関連施設の充実	5 熟年期 生きがいづくり	木曾漆器館	3,332人	2,464人	3,007人	3,867人	3,398人		社会教育課	施設利用者数	
		1 生涯学習関連施設の活用	鯉川園所・木曾考古館			1,841人	1,608人	1,514人	1,582人	1,256人		社会教育課	施設利用者数			
		2 生涯学習関連施設の活用	平出博物館等			5,543人	4,299人	4,930人	5,536人	6,263人		社会教育課	施設利用者数			
		3 生涯学習関連施設の活用	本洗馬歴史の里資料館			928人	1,605人	2,014人	2,288人	2,132人		社会教育課	施設利用者数			
4 生涯学習関連施設の活用	古田異記念館	510人	459人			415人	435人	409人		図書館	施設利用者数					
5 生涯学習関連施設の活用	塩尻体験宿泊施設の維持と効果的活用	2,509人	1,896人			2,425人	2,371人	2,620人		社会教育課	各施設利用者数合算					
6 生涯学習関連施設の活用	整備された公園設備等一スポーツ施設利用者数	475,861人	538,716人			502,335人	508,684人	474,213人	475,000人		スポーツ推進課	スポーツ公園等の設置数				
7 生涯学習関連施設の活用	誰でもスポーツに取り組める環境がある	46.2%	-			36.8%	35.3%	32.8%	50%		スポーツ推進課	アンケート調査				
5 成果の発表・活用と地域への還元	生涯学習関連施設の充実	1 学校施設の開放による地域に関わった学習空間の確保	学校開放講座等の実施件数	34件	42	44	39	44件		中央公民館ほか	開催数					
		2 新たな学習空間の確保	新たに生涯学習施設として利用できるようになった施設	0	0	0	0	0		社会教育課	実績数					
		1 乳幼児期 生活習慣の確立	市民1,000人あたりのファミリーサポーター登録者数	4.74	3.74	5.63	6.6	9.1	依願者 400/71		子育て支援センター	実登録者数	依願者527人+提携会員83人=610人 610人×1,000人÷67,000人=9.1			
		2 ライフステージに応じた自主的な取り組みの支援	子育てに必要な情報を得たり相談したりすることができる	41.5%	39.9%	40.5%	35.9%	42.6%		市民意識調査	アンケート調査数					
		3 生涯学習関連施設の活用	子育ての不安や悩みなどを解消するためのサポートがなされている	34.7%	34.0%	35.4%	30.9%	36.9%		市民意識調査	アンケート調査数					
		4 生涯学習関連施設の活用	学校図書の一入あたりの貸出し冊数	57.1冊	58.5冊	57.7冊	59.6冊			教育総務課	各校貸出冊数の合算					
		5 生涯学習関連施設の活用	熟年者を対象とした講座の実施回数	122	120	159	159	169回		健康づくり課	健康関連講座開催数					
		6 生涯学習関連施設の活用	塩尻ロマン大・大学の講座数・参加者数	52	50	50	50	50回		R1～ 社会教育課	ロマン大・大学院関係実績	R元年度 長寿課から社会教育課に移管 R元年度 長寿課から社会教育課に移管				
6 生涯学習関連施設の活用	生涯学習関連施設の充実	2 スポーツの振興	大学参加者数	146人	115	101	106	102人		R1～ 社会教育課	ロマン大・大学院関係実績					
		1 生涯学習関連施設の活用	スポーツ施設利用者数	475,861人	538,716人	502,335人	508,684人	474,213人	475,000人		スポーツ推進課	利用者数				
		2 生涯学習関連施設の活用	特定健診受診率	41.8%	42.1	42.3	42.7	-		健康づくり課	健康づくり課数値					
		3 生涯学習関連施設の活用	週4日以上1回30分以上の運動習慣がある人の割合	38.7%	35	34.2	34.9	-		健康づくり課	健康づくり課数値					
		4 生涯学習関連施設の活用	生活習慣を改善してみようと思う人の割合	27.5%	62.1	63.3	64.2	-		健康づくり課	健康づくり課数値					
		5 生涯学習関連施設の活用	市主催芸術文化事業への来場者数	20,629人	8,690人	7,800人	7,100人	6,950回	8,000人		社会教育課	芸術文化事業来場者数				
		6 生涯学習関連施設の活用	社会教育指導員の活動日数	180日	180日	180日	180日	180日		社会教育課	活動日数					
		7 生涯学習関連施設の活用	総合文化センター登録団体数	231	258	253	219	218団体		社会教育課	公共施設予約システム数値(行政・各種団体除く)					
7 生涯学習関連施設の活用	生涯学習関連施設の充実	1 生涯学習関連施設の活用	地域スポーツ団体数	2	3	3	3	3団体	4クラブ		スポーツ推進課	スポーツ振興課数値				
		2 生涯学習関連施設の活用	総合文化センター利用団体数	7,928人	7,424	7,118	6,740	7,170人		社会教育課	公共施設予約システム利用件数数値					
		3 生涯学習関連施設の活用	市主催の芸術・文化事業の展示・発表団体数	126	232	163	165	160団体		社会教育課	社会教育課実績数値					
		4 生涯学習関連施設の活用	特定健診受診率(再掲)	41.8%	42.1	42.3	42.7	-		健康づくり課	健康づくり課数値					
		5 生涯学習関連施設の活用	互いに支え合い、助け合う人間関係が地域に築かれている	51.3%	38.8%	37.7%	43.3%	38.0%		市民意識調査	アンケート数値					
		6 生涯学習関連施設の活用	市民が中心となつたまちづくり活動が活発に行われている	35.1%	31.8%	29.9%	28.8%	32.2%		市民意識調査	アンケート数値					
		7 生涯学習関連施設の活用	市民交流センターの市民室に向けた提案事業委託数	0	2	3	2	2		交流支援課	交流支援課数値	こどもおもしろい、市民大・市民大・市民大・市民大で生かした市民講座事業(当面この2事業で)				
		8 生涯学習関連施設の活用	地域活性化支援事業交付金を活用した事業の参加者数	305	351	2209	566	786人		地域振興課	地域振興課数値	交付金を活用した公園づくり事業などに参加した区民の人数				

スポーツ推進計画の指標及び推進状況

基本目標1 子どものスポーツ機会の充実

指標	基準値 (H25)	目標値 (H35)	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略				
	570人	570人	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
スポーツ少年団登録団員数	570人	570人	576人	498人	511人	501人	472人						スポーツ事務局に 確認した人数

基本目標2 ライフスタイル・ステージに応じたスポーツ活動の推進

指標	基準値 (H24)	目標値 (H35)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
	週1回以上スポーツに親しむ 成人の割合(〇)は社会体育意 識実態調査による)	【35.4%】	50.00%	31.10%	28.60%	30.10%	32.90%	31.70%					
HP公表数字			33.00%	31.50%	32.40%	35.90%							企画課が実施する 市民アンケート結 果(公表数字と異な る) 国・県はH29に65% に見直し

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
	子どもから高齢者まで誰でも スポーツに取り組める環境が あると感じる人の割合	46.20%	50.00%	46.20%	39.20%	36.80%	35.30%	32.10%					
HP公表数字			49.70%	41.50%	39.00%	38.30%							企画課が実施す る市民アンケート 結果(公表数字と 異なる)

基本目標3 スポーツを通じた地域づくり

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	
	市内の総合型地域スポーツク ラブの数	2クラブ	4クラブ	2クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ	3クラブ					
													北小野、高出が 設立済み アンテロープを追 加

第3期中期戦略

第2期中期戦略

第1期中期戦略

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略				
			H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績		
トップアスリートとの交流事業の開催回数	年1回	年3回以上	1	1	1	1							山雅クリニック等
(事業内容)	スレック山雅サッカー		キャリア教育事業(片丘小)	9/25山雅クリニック	10/29山雅ホームタウンデー	8/25山雅ホームタウンデー							

基本目標5 スポーツに関わる人材の育成

指標	基準値 (H26)	目標値 (H35)	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略				
			H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績		
指導者向けの講習・教室等の開催回数	年1回	年1回以上	1回	1回	1回	1回							講習会開催した実数
(事業内容)			(栄養学)	(けが予防と体づくり)	1/27ペップトーク	3/2メンタル							

基本目標6 スポーツ施設の整備と有効活動

指標	基準値 (H25)	目標値 (H35)	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略				
			H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績		
スポーツ施設利用者数	475,861人	475,000人	516,169人	502,335人	508,684人	474,213人							体育施設利用者数 (基準段階でプールと櫛川弓道場を除く)

基本目標外 市民体育祭(夏季大会)の状況

指標	基準値 (H25)	目標値 (H35)	第1期中期戦略			第2期中期戦略			第3期中期戦略				
			H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績		
参加者数	3,259人		3,054人	2,743人	2,715人	2,600人							
競技種目数	23種目		25種目	24種目	24種目	21種目							

サービス内容	サービス指標	H30	R1	R2
資料の収集	蔵書数：51万5千点（雑誌、視聴覚資料は除く）	497,309		
資料の整理・保存	蔵書数：51万5千点（雑誌、視聴覚資料は除く）	497,309		
資料の提供	人口一人当たりの貸出冊数：10冊／年	9.93		
レファレンスサービス	レファレンス受付件数（全館）：2016（平成28）年度比20％増（2020年度：2,900件）	2,095		
分館	レファレンス受付件数：2016（平成28）年度比20％増（2020年度：1,760件）	1,154		
乳幼児サービス・児童サービス	児童書の蔵書回転率：2冊を維持	1.85		
青少年サービス	中高生の利用者数（全館）：5,500人以上を維持	5,038		
高齢者サービス	高齢者が参加するイベント等で図書館を紹介する回数と高齢者向け企画事業の開催回数合計：10回／年	11		
図書館利用に障がいのある方へのサービス	サービス広報回数：6件以上／年	12		
ビジネス支援サービス	ビジネス支援サービスの広報回数：10件以上／年 ビジネス相談会への相談件数：20件以上／年 ビジネス相談会を活用した創業者の誕生：1件以上／年	27 21 0		
子育て支援サービス	図書館又は子育て関係部署と連携した出張図書館等企画事業の実施：6回／年	27		
多文化サービス	外国語で書かれた資料の購入：300冊／年	137		
医療・健康情報サービス	市の担当部署や医療機関等と連携した企画事業の実施：2回／年	1		
図書館サポーターとの協働	登録者との意見交換会の開催：4回／年	4		
郷土資料の充実と活用	郷土資料に関わる人物等の紹介や、郷土資料を生かした企画事業の開催：3回／年	8		
学校連携	学校司書の研修の機会：3回以上／年	6		
企画事業	イベント参加人数（全館）：15,000人／年	15,900		
情報発信	メディアに取り上げられる回数：200回／年	227		
デジタル資料の充実と活用	デジタル資料アクセス数：900件／年 地域資料のデジタル化点数：300点／年	447 808		

数値目標の内容	現在の数値 (H25)	現在の数値 (H29)	現在の数値 (H30)	目標数値 (H31)
① 学校図書館や地域の図書館の利用の割合※[1]		—	—	
児童数の割合 (小6年)	79.90%			85%
生徒数の割合 (中3年)	53.60%			60%
② 1日に読書をしている児童数の割合※2 (小6年)	87.30%	82.10%	85.20%	90%
生徒数の割合 (中3年)	76.60%	76.20%	77.10%	80%
③ 本と子どもをつなぐ事業への参加者数	8,959人	9,278人	10,201人	10,000人
おはなし会	3,745人	3,334人	4,930人	
おはなしプレゼント	3,451人	4,586人	3,386人	
その他	1,763人	1,358人	1,885人	
④ 「こんにちは絵本」(ブックスタート)の配布率	98.40%	100.00%	100.00%	100%
「なかよし絵本」(セカンドブック)の配布率		68.00%	64.00%	
⑤ 子どもの読書環境の数値 団体貸出数	9,837冊	41,116冊	43,446冊	12,000冊

※[1] ①は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」による数値。

質問事項の「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか」による

平成29年度より①の質問事項は削除されています。(集計できませんでした)

※2 ②は、平成19年から毎年行われている「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」による数値。

質問事項の「学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)」による

平成30年度 塩尻市教育委員会会議等記録

1. 教育委員

氏名	任期	
山田 富康	教育長	平成28年6月27日～平成31年6月26日
小澤 嘉和	教育長職務代理者	平成28年6月26日～平成32年6月25日
林 貞子	委員	平成27年6月26日～平成31年6月25日
嶋崎 栄子	委員	平成29年7月1日～平成33年6月30日
石井 勉	委員	平成30年6月22日～平成34年6月21日
石井 實	委員	平成26年6月22日～平成30年6月21日

2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案件	
4月26日	4月定例	議事案件	通学区域見直しに関する方針等について
			図書館協議会委員の任命について
			塩尻短歌館協議会委員の委嘱について
			檜川地区文化施設協議会委員の委嘱について
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の退任及び新規委員の委嘱について
			社会教育委員の任命について
		平成30年度塩尻市奨学生の選考について<非公開>	
		その他案件	平成29年度中学校卒業生進路状況について<非公開>
要保護及び準要保護児童生徒の認定について<非公開>			
教育委員会事務局に係る条例等の改正について			
学校運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告について			
5月25日	5月定例	報告案件	塩尻市元気っ子応援協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			塩尻市立博物館協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
			本洗馬歴史の里協議会委員の委嘱に係る専決処分報告について
		その他案件	教育委員会事務局に係る例規の改正について
6月28日	6月定例	報告案件	夏季休業期間における学校閉庁日の設定について
			塩尻市教育支援委員会委員の委嘱について
			市議会6月定例会に係る教育委員会報告について
7月26日	7月定例	報告案件	学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
			市議会7月臨時会に係る教育委員会報告について
		議事案件	小中学校教科用図書採択について<期間限定非公開>
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱にかかる専決処分報告について
8月23日	8月定例	報告案件	塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱にかかる専決処分報告について
		議事案件	学校職員に対する指導上の措置について<非公開>
		その他案件	平成30年度教育委員会関係補正予算(案)について
			教育委員会事務局に係る例規の改正(案)について
			平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
			平成30年度第32回全国短歌フォーラムin塩尻(一般の部)投稿数について

期日	会議	案 件	
9月27日	9月定例	報告案件	市議会9月定例会に係る教育委員会報告について
10月25日	10月定例	報告案件	学校運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
			市所有文化財資料の長野県宝指定について
		議事案件	市指定有形文化財（建造物）の指定解除について
			平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
その他案件	塩尻市寡婦（夫）控除のみなし適用に関する実施要綱制定について		
	塩尻市新体育館建設事業 設計・施工者選定公募型プロポーザル審査結果について		
11月27日	11月定例	報告案件	平成30年塩尻市議会11月臨時会報告
		その他案件	平成30年度教育委員会関係補正予算（案）＜期間限定非公開＞
12月21日	12月定例	報告案件	平成30年塩尻市議会12月定例会報告
		議事案件	教育委員会規則の改正について
			教職員の指導上の措置について＜非公開＞
その他案件	平成31年度教育委員会関係予算重点施策について＜期間限定非公開＞		
1月25日	1月定例	議事案件	塩尻市公民館管理規則及び塩尻市立図書館管理規則の一部を改正する規則
2月21日	2月定例	議事案件	塩尻市立小・中学校の通学区域等に関する規則の一部を改正する規則
			塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令
			塩尻市奨学資金貸与条例施行規則の一部を改正する規則
			塩尻市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則
			塩尻市立中学校における部活動指導員設置要綱
		塩尻市木曾平沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について	
その他案件	教育委員会事務局に係る例規の制定及び改正（案）について＜期間限定非公開＞		
	平成30年度教育委員会関係補正予算（案）について＜期間限定非公開＞		
	平成31年度教育委員会関係予算（案）概要＜期間限定非公開＞		
3月22日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告について
			平成31年度教育センター研修講座について
			平成31年度塩尻市立小中学校の休業日に係る専決報告について
			教育委員会事務局4月1日付人事異動について
			長野県公立高等学校入学者選抜の結果＜非公開＞
		議事案件	学校職員に対する指導上の措置について＜非公開＞
			教育委員会事務局組織規則の一部改正
			塩尻市教育委員会の所管する公共施設に係る塩尻市公共施設予約システムの利用に関する規則の一部改正
			平成31年度に使用する小学校の特別支援学級用教科用図書の採択について
			塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
その他案件	塩尻市文化財保護審議会委員の委嘱について		
その他案件	教育委員会関係施設に係る10連休の対応について		

3. 協議会

期日	協議事項
4月26日	新体育館の基本設計について 市制60周年記念事業「デジタルアーカイブ事業」ほかについて 元気っ子育成支援プランⅡ中間見直しの修正について 主観指導主事の学校訪問について 学校閉庁日について 塩尻志学館高校学校評議員について 教育委員視察研修について
5月25日	塩尻市子どもの未来応援協議会の設置について 元気っ子応援協議会について（報告） 体育施設における事案について（報告） 教育委員の任命について 学校閉庁日について
6月28日	「塩尻市要保護児童対策地域協議会代表者会議」について（報告） 「第43回塩尻玄蕃まつり」おどり審査委員について 東筑摩塩尻PTA連合会研修会について
7月26日	市町村教育委員会連絡協議会第62回研修総会について
8月23日	教育施設の冷房設備（エアコン）導入について 教育委員視察研修について 市内小学校運動会について
9月27日	台風21号による文化財・文化施設等の被害報告について 子どもホットラインの廃止について 全国学力学習状況調査結果の公表内容について 教育委員会自己点検評価について
10月26日	北部交流センター運営プラン報告 総合教育会議について 教育委員会自己点検評価について 諸表簿・施設等点検について
11月27日	教育委員会自己点検評価について 教職員住宅管理規則の一部改正について 教育委員会視察研修について
12月21日	平成31（2019）年度教育委員会日程（案）について 教育委員視察研修のまとめについて

期日	協議事項
1月25日	図書館檜川分館等の移転について 給食喫食調査の結果について 教育委員会関係例規について 小中学校の敷地内禁煙について
2月21日	塩尻市立図書館の外部発信に係る報告 教育委員会事務局組織規則の一部改正について 卒業式・入学式の出席校の調整について 学校リフレッシュウィークについて 檜川地区教育振興検討部会について
3月22日	市立中学校の運動部活動の取り組み方針について 年度末・年度はじめ諸行事について 平成30年度の教育委員会活動について

4. こんにちは教育委員会

11月22日 洗馬小学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談
12月19日 丘中学校 授業参観、学校施設視察、グループ懇談

5. 教育委員研修

10月12日 安曇野市 長野県市町村教育委員会研修総会
12月17日 埼玉県川口市 学校選択制について（川口市教育委員会）

6. 諸表簿・施設等点検

11月 6日 塩尻西部中学校
11月19日 広陵中学校
12月3日 広丘小学校

7. 表彰

1月18日 第12回キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣表彰

8. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
1月27日 ～4月16日	自然博物館	特別企画展「自然の写真展」
4月21日	平出博物館	妙義山城を歩こう
4月26日	図書館	DVD鑑賞会①
4月28日	自然博物館	自然観察会「長野県烏川溪谷緑地探鳥会」
4月28日	図書館	春らんまん！スペシャルおはなし会
4月28日 ～6月3日	平出博物館	企画展「塩尻の出土品大集合」 ～塩尻東地区の考古学調査・昭和編～
4月28日 ～7月8日	自然博物館	特別企画展「昆虫と人展」 蟲に魅せられた人々
4月2日 ～4月29日	図書館	ふじのえみこ鉄塔写真展「ターミナル」
4月29日	図書館	しおり部オリエンテーション
5月13日	スポーツ推進課	第30回ファミリースポレクフェスティバル
5月20日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 鼎談「作家の魅力 映画の魅力」高橋伴明氏（映画監督） ・横松美千繪氏（故立松和平氏夫人）・長田洋一氏（編集者）
5月19日・ 20日	教育総務課	信州しおじり 体験学習フェスティバル
5月26日	平出博物館	初夏の平出を歩く
5月1日 ～5月27日	図書館	木曾漆器祭展
6月3日	平出博物館	釜井庵寺子屋塾①（全3回）「折口信夫と洗馬の里」
6月3日	子育て支援	ファミリーサポート事業ファミリー交流会
6月9日	図書館	えんぱーくチャリティーコンサート（第8回）
6月10日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 「小説と私」久間十義氏（作家）
6月10日	社会教育課	塩尻市民芸術祭舞台発表の部
6月10日	教育総務課	こども未来塾 小学生リーダー研修
6月8日～10 日	社会教育課	塩尻市民芸術祭展示発表の部
6月12日	子育て支援	第1回子育てサポーター養成講座
6月16日	男女共同参画・若者サポ-	ジュニア・リーダー養成講座 開講式・第1回研修会
6月17日	スポーツ推進課	第28回スポレクバイアスロン大会
6月23日	教育総務課	塩尻市コミュニティ・スクール連絡協議会 塩尻市のコミュニティ・スクールを考える市民の集い<夏季大会>
6月24日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 「なつかしい時間」大空眞弓氏（女優）
6月24日	自然博物館	初夏の上高地自然観察会
6月24日	こども課	児童館まつり
6月30日 、7月1日	交流支援課	tent～学校とはちょっと違う学び～（第1回）
7月1日	自然博物館	第41回自然科学講座
7月1日	平出博物館	第21回平出ミュージアムコンサート～音楽の動物ずかん～
7月5日	図書館	やってみよう！おはなし会全3回連続講座
7月6日	家庭支援課	こどもの未来応援講演会
7月7日	図書館	夏の夜のこわーいおはなし会
7月7日	平出博物館	第2回土曜サロン「縄文土器と尺度」
7月7日	交流支援課	えんぱーくで夢をみつけよう（第1回） 「～地域で働く技術者編～」
7月8日	社会教育課	第14回塩尻市民音楽祭 管弦楽発表
7月8日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋「目指せ！図書館マスター開校式」
7月8日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 「戦争体験を語り継ぐこと、受け継ぐこと」佐藤直子氏（東京新聞論説委員）
7月10日	子育て支援	乳幼児の救急法講座
7月14日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 「鶴と亀～田舎のリアルなかっこよさ～」小林直博氏 編集者兼フォトグラファー
7月14日	交流支援課	おいでおいで祭り 工作広場「くるっくる風車を作ろう」

期日	担当課	行事名
7月14日	子育て支援センター	おいでおいでまつり 2018
7月14日、 15日	男女共同参画・ 若者サポート課	ジュニア・リーダー養成講座第2回研修会
7月21日	自然博物館	美ヶ原自然観察会
7月21日	交流支援課	ちびてつ2018(第1回)
6月30日 、7月1日 7月21日、 22日	教育総務課	親子料理教室
7月26日	図書館	DVD鑑賞会
7月28日	平出博物館	チャレンジ子どもミュージアム① 「星ふる里めぐり(黒耀石体験ミュージアム・鷹山遺跡)」
7月28日	社会教育課	詠み会in塩尻
7月29日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋「本ができるまでツアー」
7月10日 ～7月29日	図書館	企画展「鶴と亀～田舎のリアルなかつこよさ～」
7月30日	図書館	信州しおじり本の寺子屋学校職員向け講座 「調べ学習に役立つ図書館をつくる～調べ学習ワークショップ～」 丸山光枝氏
7月31日	図書館	信州しおじり本の寺子屋学校職員向け講座 「学校図書館を活かした学びの在り方～学校を巻き込む司書教諭と学校司書の協働～」田揚江里氏
8月3日	平出博物館	チャレンジ子どもミュージアム②「火星大接近観察会Ⅰ」
7月31日 、8月3日	家庭支援課	特別支援教育研修会
8月4日	交流支援課	えんぱーくで夢を見つけよう Vol.2 「勤務地は氷の大地!?南極地域観測隊の仕事に迫る」
8月4日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「わらべうたファミリーコンサート」坂野知恵氏
8月5日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋「目指せ!図書館マスター」第3回
8月5日	図書館	信州しおじり本の寺子屋「ノンフィクション作家残酷物語」澤宮優氏
8月1日 ～8月5日	自然博物館	親子昆虫標本作り教室
8月6日	男女共同参画・	デートDV防止教職員研修
8月9日 ～8月10日	教育総務課	給食レストラン
8月12日	交流支援課	えんぱーく科学館
8月11日 ～8月12日	社会教育課	第42回全国高等学校総合文化祭(2018信州総文祭)日本音楽部門
8月11日 ～8月12日	平出博物館	チャレンジ子どもミュージアム③④「縄文風小屋づくりⅠ・Ⅱ」
8月18日	交流支援課	ちびてつ2018(第2回)
8月19日	自然博物館	自然博物館協力会研修
8月19日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋「目指せ!図書館マスター」第4回
8月19日	子育て支援センター	こども広場開館8周年記念コンサート
8月25日	男女共同参画・	LGBT啓発授業～君は一人じゃないから～
7月28日 、8月25日	教育総務課	塩尻市コミュニティ・スクール研修会実践発表
8月26日	スポーツ推進課	第38回塩尻市市民水泳大会
7月30日 ～8月26日	図書館	信州しおじり本の寺子屋企画展 「暮らしの手帖」70周年特別企画「戦中・戦後の暮らしの記録」
8月25日、 26日	社会教育課	塩尻市民音楽祭バンド発表
9月1日	交流支援課	こども絵画造形教室エカキッズ「じぶんをコピーしてみよう!」
9月1日	図書館	英語多読を楽しもう!酒井邦秀氏・松井正英氏
9月1日	こども課	しおじり子育て応援イベント「みんなで作る子どもの未来」

期日	担当課	行事名
9月2日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋「写真絵本づくりワークショップ」 小寺卓矢氏
9月2日	図書館	信州しおじり本の寺子屋「撮ること・綴ること・伝えること」 小寺卓矢氏
9月2日	平出博物館	第15回 ひらいで遺跡まつり
7月14日 ～9月2日	自然博物館	夏休み特別企画「身近な昆虫展」
7月4日 ～9月2日	図書館	上高地出張展示「新・山岳案内」
9月8日	自然博物館	初秋の上高地自然観察会
9月8日	男女共同参画・	ジュニア・リーダー養成講座第3回研修会
9月8日	交流支援課	第2回 t e n t 学校とはちょっと違う、学び
9月2日 ～9月8日	図書館	絵本原画展「わにわにのおふろ」
9月9日	社会教育課	塩尻市民音楽祭コーラス発表
9月9日	交流支援課	えんぱーくで夢を見つけようvol.3 「建設現場を見に行こう！トンネルはどうやって作られている！？」
9月9日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋「目指せ！図書館マスター」第5回
9月9日	図書館	信州しおじり本の寺子屋「本を伝える。本で伝える。」井出彰氏
9月3日 ～9月9日	社会教育課	平成30年度長野県信濃美術館移動展
9月15日	交流支援課	ちびてつ2018(第3回)
9月16日	平出博物館	釜井庵寺子屋塾③「信濃の豪族 三村氏のルーツについて」
9月17日	家庭支援課	元気っ子講演会
9月21日	交流支援課	シニア講座「オシャレなスタンドグラス調ライト作り」
9月22日	子育て支援センター	ベビーマッサージ・命の学習
8月30日 ～9月24日	図書館 平出博物館	平出博物館展「土器の魅力にどっきどき」
9月25日	図書館	信州しおじり本の寺子屋図書館職員向け講座 「図書館員のための”伝わる”チラシづくり実践」高橋佑磨氏
9月27日	図書館	DVD鑑賞会③
9月27日	交流支援課	インスタグラムで地域の魅力発信講座①
9月28日	男女共同参画・	青少年関係3団体合同研修会・情報交換交流会
9月30日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「目指せ！図書館マスター」第6回
9月29日、 30日	社会教育課	第32回全国短歌フォーラムin塩尻（一般の部）
10月6日	平出博物館	土曜サロン④「縄文社会における土器の移動と交流」
10月6日、7 日	子育て支援センター (実行委員)	第8回木育フェスティバルイン信州しおじり
10月13日	交流支援課	インスタグラムで地域の魅力発信講座②
10月14日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「目指せ！図書館マスター」第7回
10月14日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 「翻訳の言葉、言葉の翻訳」金原瑞人氏
10月14日	スポーツ推進課	第10回塩尻ぶどうの郷ロードレース大会
10月14日	子育て支援センター	絵本作家accototoさんによるワークショップ&絵本の読み聞かせ
9月27日 ～10月14日	図書館	「新・山岳案内」活動報告展
10月20日	男女共同参画・	ジュニア・リーダー養成講座第4回研修会
10月20日	交流支援課	ちびてつ④
10月20日	こども課	親子でイクジー・えんぱー保育園
10月21日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 古田晁記念館文学サロン 「太宰治賞を受賞して」サクラ・ヒロ氏（作家） 「忘れえぬ人々―筑摩書房と私」山本克俊氏（元筑摩書房編集者）
10月21日	社会教育課	全国短歌フォーラムin塩尻 伊藤一彦氏 特別講演会

期日	担当課	行事名
10月21日	平出博物館	平出歴史大学①「人はなぜ戦うのかー考古学からみた戦争ー」
10月28日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「目指せ！図書館マスター」第7回
10月28日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 地域文化サロン 「世界から見たしおじりワイン」石井もと子氏 (ワインコーディネーター・ジャーナリスト)
10月28日	交流支援課	インスタグラムで地域の魅力発信講座③
10月28日	教育総務課	こども未来塾 小学生リーダー研修
11月3日	社会教育課	塩尻市民文化祭・舞台発表の部
11月3日	図書館	読書週間スペシャルデー
11月3日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「目指せ！図書館マスター」第8回
11月4日	交流支援課	第3回 t e n t 学校とはちょっと違う、学び
11月2日 ～11月4日	社会教育課	塩尻市民文化祭・展示発表の部
9月8日 ～11月4日	自然博物館	特別企画「紙の昆虫展ー百瀬達也の世界」
11月10日	男女共同参画・	ジュニア・リーダー養成講座第5回研修会
11月10日 ～1月27日	自然博物館	特別企画展「木のおもちゃ展」
11月11日	図書館	信州しおじり本の寺子屋講演会 地域文化サロン 「民話で見る塩尻の風景」窪田雅之氏 (前松本市立博物館長)
11月11日	平出博物館	紅葉の釜井庵で短歌と陶芸を楽しむ
11月14日	図書館	学校巡回ものがたりライブ杉山亮氏 (児童書作家、ストーリーテラー)
11月17日	交流支援課	ちびてつ⑤
11月18日	社会教育課	第13回塩尻市民洋楽舞踊フェスティバル
11月18日	図書館	信州しおじり子ども本の寺子屋 「目指せ！図書館マスター」修了式
11月18日	平出博物館	本洗馬歴史講演会 「信州と菅江真澄ー菅江真澄没後190年にあたってー」
10月18日 ～11月20日	図書館	印刷博物館展「印刷の歴史」
11月22日	図書館	DVD鑑賞会④
11月22日 ～12月27日	図書館	信州しおじり本の寺子屋企画展 雑誌ナショナルジオグラフィック創刊130周年特別企画 「ナショナルジオグラフィックの世界」
10月18日 ～11月22日	図書館	図書館でウォーリーを探そう！
11月1日、8日 15日、22日	スポーツ推進課	整体ストレッチ体操 (バランスコーディネーション)
11月23日	交流支援課	えんぱーくで夢を見つけよう Vol.4 「ケーキと笑顔を届ける洋菓子作りのプロ、パティシエ。技術と魅力を体験！」
11月24日	自然博物館	第42回自然科学講座「北アルプスはどのようにしてできたか」
11月24日	社会教育課	第32回全国短歌フォーラムin塩尻「学生の部」
11月25日	スポーツ推進課	ファミリースポレクフェスティバル 第6回ワンバウンドふらば～るバレーボール大会
11月25日	図書館	信州しおじり本の寺子屋「新聞記者の読書」中澤雄大氏
11月25日	教育総務課	こども未来塾中学生リーダー研修 (翌年度生徒会役員を対象に開催)
11月27日 ～11月29日	図書館	学校巡回ものがたりライブ 杉山亮氏 (児童書作家、ストーリーテラー)
12月1日	交流支援課	えんぱーくクリスマス2018
12月1日	平出博物館	土曜サロン⑤「顔のついた縄文土器」
12月2日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 ナショナルジオグラフィックの世界トークショー 武内太一氏
11月20日 ～12月2日	図書館	図書館サポーター体験講座全4回 ※同じ内容の講座を各2回、平日・休日に分けて開催
11月17日 ～12月4日	図書館	A-RUさん作品展
12月8日	男女共同参画・	豊かな心を育む市民の集い

期日	担当課	行事名
12月9日	社会教育課	第12回塩尻市民演劇フェスティバル
12月8日、9日	交流支援課	こどもだけの街こどもしおじり
12月15日	男女共同参画・	ジュニア・リーダー養成講座第6回研修会・閉講式
12月15日	スポーツ推進課	第59回塩尻市民体育祭冬季大会スケート競技会 第39回塩尻市・朝日村ジュニアスケート競技会
12月15日	交流支援課	ちびてつ⑥
12月15日	平出博物館	ひらいで考古雑談「わたしの考古学履歴書～メッセンジャーボーイになろう!～」
12月15日	家庭支援課	子育て応援講演会
11月10日、12月15日	教育総務課	塩尻市コミュニティ・スクール研修会実践発表
12月20日	交流支援課	高ボッチ教室しめ縄体験!
1月5日	社会教育課	第53回新春書き初め大会
1月6日	社会教育課	平成31年塩尻市成人式
1月19日	図書館	英語&スペイン語deおはなし会
1月19日	交流支援課	ちびてつ⑦
1月20日	自然博物館	自然観察会「犀川白鳥湖水鳥観察会」
1月27日	子育て支援センター	パパとあそぼうday
1月26、27日	図書館	しおりフェスティバル
1月4日～1月27日	図書館	信州しおじり本の寺子屋企画展 「紙しばいの世界」
2月3日	塩尻短歌館	第24回短歌の里 百人一首大会
2月9日	図書館	手話で楽しむおはなし会
2月16日	交流支援課	ちびてつ⑧
2月17日	交流支援課	えんぱーくで夢を見つけよう Vol.5 「ふたりの思いを形に。笑顔を作るウェディングプランナーの仕事」
2月23日	教育総務課	第2回塩尻市コミュニティ・スクール連絡協議会 塩尻市のコミスクを考える市民集会 ～冬季大会～
2月23日～2月24日	交流支援課	第6回こどもアトリエタウン
3月2日	スポーツ推進課	スポーツ指導者講演会「やる気を引き出し夢を叶える」 メンタルトレーニングの実践
3月2日	図書館	ピアノとおはなしの会
3月2日	子育て支援センター	ひなまつりコンサート
3月9日	平出博物館	平出博物館歴史文化セミナー 「信濃の中世社会と城～山城が伝える戦乱の時代と人々～」
3月9日	交流支援課	ちびてつ⑨
3月10日	交流支援課	エカキッズ「紙粘土を使ってユラユラ浮かぶ自分だけのオブジェをつくろう!」
3月10日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 「原作と向き合う」古厩智之氏（映画監督）
2月15日～3月10日	図書館	さわれる剥製展～生物多様性について学ぼう～
3月16日	平出博物館	ひらいでの里魅カづくり講演会「縄文と藤森建築」
3月17日	交流支援課	tent～学校とはちょっと違う学び～Vol.5
3月23日	図書館	信州しおじり本の寺子屋 武井武雄展ギャラリートーク「童画家武井武雄について」
3月24日	平出博物館	平出博物館・平出遺跡公園協力会 地域連携講座「街道を巡る～中山道に暮らす人々～」

9. 「広報しおじり」特集等記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	記事名
5月号	1	教育総務課	表紙の写真「新たな生活への期待を胸に、市内小学校に新入生が入学」
5月号	6	新体育館建設プロジェクト	特集「新体育館の基本設計が完成」
5月号	1	子育て支援センター	特集「子育て中のみなさんを応援します」
6月号	1	スポーツ推進課	表紙の写真「ファミリースポレクフェスティバルを開催。」
6月号	4	こども課	特集「子どもたちを支える保育園」
6月号	2	教育総務課	特集「学校規模の適正化を考える」
8月号	1	こども課 平出博物館	表紙の写真「園児たちが願いを込めて飾った釜井庵七夕飾り」
8月号	4	教育総務課	特集「地域で子どもを育む」
8月号	2	中央公民館	特集「出かけてみよう公民館」
9月号	2	社会教育課	特集「短歌の魅力に触れてみませんか」
10月号	2	教育総務課	特集「もうすぐ小学1年生！」
10月号	1	社会教育課	塩尻市民文化祭
11月号	1	家庭支援課	特集「児童虐待防止推進月間」
11月号	1	こども課	特集「児童クラブ・キッズクラブ説明会」
12月号	1	教育総務課	全国学力・学習状況調査
12月号	1	男女共同参画・若者サポート課	人権を守ろう
1月号	6	図書館	特集「図書館の新しいカタチ」
1月号	2	社会教育課	全国短歌フォーラムin塩尻「学生の部」
2月号	1	社会教育課	表紙の写真『新春恒例の「書初め大会」。』



**令和元年度
教育委員会自己点検・評価報告書**

令和2年3月

塩尻市教育委員会
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号
電話 (0263) 52-0280 (代)
ホームページ <http://www.city.shiojiri.lg.jp/>
